週刊 YEAR BOOK

日録20世紀

1984
昭和59年

4|7
平成10年4月7日発行
(毎週1回発行)第2巻第13号
¥560
講談社

この人を
さがしています

衝撃の「かい人21面相」!

冒険家・植村直己、マッキンリー峰に散る!
宮崎駿アニメ「風の谷のナウシカ」大ヒット
アフリカを襲った"今世紀最悪"の飢餓!

(連絡先)
大阪府警察本部
(06)943-1234

世界初の冬季単独登頂成功を告げて——極寒の北米マッキンリー峰に散った冒険家・植村直己の「栄光」と「夢」

▲昭和59年2月6日、雪洞を掘る作業中の植村。翌7日、植村は頂上をめざし氷壁を登り始める。 植村直己／文藝春秋提供

昭和五九年二月一二日、世界に名高い冒険家・植村直己は北米大陸最高峰のマッキンリー冬季単独登頂をはたした。世界初の快挙である。だがその下山途中、植村の姿は強風吹きすさぶ雪山の中に消えた。長年めざしてきた南極大陸犬ゾリ探検の夢を残したまま——。

登頂達成を伝える交信が最後の声に

「昨日の夜の七時一〇分前にサウス・ピークの頂上着。現在位置は、標高……」

昭和五九年二月一三日午前一一時（日本時間一四日午前五時）、稀代の冒険家、植村直己（四三）は、軽飛行機で追っていたテレビ朝日取材班にこう伝えた。

世界で初めて、北米大陸最高峰のマッキンリー（六一九四㍍）の冬季単独登頂に成功したのである。登頂をはたした二月一二日は、奇しくも植村の四三回目の誕生日。マスコミはこの快挙を一斉に報道し、たたえた。だがこの登頂成功を伝える喜ぶべき交信が、植村直己最後の肉声となったのである——。

植村が米アラスカ州、マッキンリーのカヒルトナ氷原に到着したのは、この年一月二六日のことであった。マッキンリーは昭和四五年に夏季単独登頂をはたして以来、植村にとって二度目の挑戦である。植村は二一〇〇㍍地点にベースキャンプを設定し、二月一日、山頂へ向け出発した。ソリに積みこんだ装備類は、カリブー（トナカイ）の肉などの食料にガソリン、そして無線機などで、足には北極圏用の軍用靴であるバニーブーツを履いていた。

それから約一〇日後の一二日朝、五二〇〇㍍付近を登山中の植村の姿を、取材班の乗った軽飛行機が発見した。取材班の呼びかけに対し、「登頂はこれから。後、二時間くらいでしょう」と植村は元気な声でこたえている。そして同日午後六時五〇分、植村は世界初の冬季単独登頂を達成。冒頭の翌一三日の交信で、それは世界に知れ渡った。

しかし、その後現地の天候は急激に悪化。交信もとだえ、スタッフの間に植村の安否を気づかう雰囲気が漂い始める。北極圏にほど近いマッキンリーの冬は、マイナス四〇度から五〇度、山頂付近ではマイナス六〇度にも達する。しかも強い突風が吹き荒れ、高度こそヒマラヤのエベレストより二〇〇〇㍍以上低いものの、それに匹敵する厳しい天候と戦わなければならなかったのである。一六日には、パイロットが「四九〇〇㍍付近で植村を発見」と報告してきたが、植村はい

安藤幹久／文藝春秋提供
▲シャベル、氷切り用の鋸など、マッキンリーに残された植村の装備。すべて、最上部5200メートルの雪洞で発見されたもの。

▶植村直己最後の自写像。4200メートル地点の雪洞に、日記とともに残された7本のフィルムに写っていた。 植村直己／文藝春秋提供
◎表紙 「グリコ・森永事件」で、警察が作製したポスター。似顔絵は、犯人の一人と目された"キツネ目の男"。

世界初の冬季単独登頂成功を告げて――
極寒の北米マッキンリー峰に散った
冒険家・植村直己の「栄光」と「夢」

っこうに下山してこない。そして二〇日、ついに捜索隊が派遣された。

「まずヘリコプターで、四二〇〇㍍地点の植村さんが作った雪洞を捜索したのですが、そこには山頂に向かう際に残していったカメラや輪カンジキなどの装備や日記がそのままになっており、植村さんの帰還の形跡はありませんでした」

と語るのは、みずからもヒマラヤの高峰・K2登頂の経験を持つ、テレビ朝日ディレクターの大谷映芳氏。大谷氏はこのマッキンリー登頂の取材スタッフとして現地に滞在していた。大谷氏は、マッキンリー国立公園の依頼で、アメリカ人登山家と二人で急遽捜索を開始したが、悪天候にはばまれ、思うように捜索活動は進まない。

「仕方なく四二〇〇㍍地点でしばらくキャンプしたのですが、寝袋が氷でバリバリになるような寒さでした。強風も吹き荒れ、厳冬期のマッキンリーのおそろしさを身にしみて感じました」（大谷氏）

二月二五日には、パイロットが植村の姿を見た四九〇〇㍍付近で新たな雪洞を発見。しかし植村の姿はなく、カリブーの肉や燃料タンクが残されているだけ。翌二六日、食料のつきた大谷氏らは失意のうちに下山。連日、植村の捜索を報道していたマスコミは、ついに「植村さん絶望」と報じた。大谷氏が発見した日記の最後には、ただひとことこう書かれてあった。

「何が何でもマッキンレー、登るぞ」

今なお生き続ける人間・植村の魅力

「植村さんがマッキンリーに登ったのは、夢である南極犬ゾリ探検にもう一度挑戦するためだったと思います」

北極圏犬ゾリ一万二〇〇〇キロの旅など、植村を長年撮り続けてきた文藝春秋社のカメラマン・安藤幹久氏は、こう語る。

「実は南極探検のスポンサーに、あるアメリカ企業がなってくれそうでした。ですから植村さんは、世界初の冬季マッキンリー単独登頂成功で、企業に自分をアピールしようとしたのだと思います」

また、前述の大谷氏もこう言う。

「前年の南極探検では、アルゼンチン軍との折衝など人間関係に苦労したようです。単独でマッキンリー登頂をめざしたのは、一人でリラックスして山を楽しみたい、初心に戻りたいという気持ちがあったのではないでしょうか」

植村は、まわりに大変気をつかう人だった。昭和四五年のエベレスト登頂の時も、「ほかの隊員のために」とザックいっぱいに頂上の石を持ち帰ったという。

「文藝春秋の社員たちと剣岳に登った時も、荷物が重くてつらそうな社員がいると、彼が代わりに持っちゃうんですよ。自分で持ちますと断っても、『いいから、いいから』。だから、ホントに皆から愛されていましたね」（安藤氏）

遭難までの数年間、植村は不運が続いていた。昭和五六年、冬季エベレスト登頂に失敗。昭和五八年には、長年の悲願だった南極犬ゾリ探検の実現寸前で、英国とアルゼンチンのフォークランド紛争勃発のため中止の憂き目にあった。

昭和五九年、マッキンリーに消えた植村直己は国民栄誉賞を受賞した。彼が消息を絶ってから一四年が経過したが、植村が残した冒険の軌跡と多くの著書は、今なお数多くの人々を魅了し続けている。

▲昭和53年4月29日、世界初の北極点犬ゾリ単独行でついに北極点に立った植村。この後さらに、グリーンランド内陸3000キロの縦断をもなしとげ、世界を驚嘆させた。 安藤幹久／文藝春秋提供

◀昭和四五年五月一一日、松浦輝夫とともに、日本人として初めてエベレストの頂上に立った植村。
松浦輝夫／文藝春秋提供

▲3月9日、記者会見にのぞんだ公子夫人。捜索は、事実上すでに打ち切られていた。 朝日新聞社

植村直己「五大陸最高峰制覇」栄光の軌跡

昭和16年2月12日、兵庫県城崎郡日高町に生まれた植村直己が本格的に山に取り組み始めたのは、明治大学山岳部に入部してからであった。卒業後、単身ヨーロッパに渡った植村は、昭和41年、欧州最高峰のモンブラン（4807㍍）、続いてアフリカ大陸最高峰のキリマンジャロ（5895㍍）と、単独で世界の高峰に登頂し始める。また植村の冒険は山だけにとどまらず、昭和43年にはアマゾン川6000㌔のイカダ下りに成功。その足で南米大陸最高峰であるアコンカグア（6960㍍）も単独で制覇する。その実績が認められた植村は、昭和45年の日本山岳会エベレスト登山隊に参加。同隊ではアタックチームに選ばれ、松浦輝夫とともに日本人初のエベレスト（8848㍍）登頂の快挙をなしとげる。そして同年には北米大陸最高峰のマッキンリー単独登頂（夏季）もはたし、世界で初めて5大陸すべての最高峰に立つ偉業をなしとげた。

山をきわめた彼は、その後「垂直から水平へ」と冒険の場所を転換し、南極大陸犬ゾリ探検の夢を描き始める。その下準備として、昭和51年に北極圏1万2000㌔を犬ゾリで完走。翌々年には、犬ゾリによる北極点単独行、そしてグリーンランド縦断にも成功した。

◀「冒険とは生きて還ること」が座右の銘だった。
安藤幹久／文藝春秋提供

「グリコ・森永事件」はなぜ"未解決"になったか
延べ一二五万七〇〇〇人の捜査員を嘲笑って
「かい人21面相」は闇に消えた！

▶青酸入り森永ドロップが発見された西宮市のコンビニの防犯カメラがとらえた不審な男。10月15日公開。

読売新聞社（6点とも）

殺人未遂から身代金目的誘拐、強盗致傷にいたるまで、適用された罪名は二七。一〇年間に投入された専従捜査員が一二五万七〇〇〇人。事情聴取を受けた人は一二万五〇〇〇人にもおよぶという。従来の犯罪常識をくつがえす、昭和犯罪史でも最大級の「グリコ・森永事件」。世界一の検挙率を誇る日本警察は、なぜ「かい人21面相」を逮捕できなかったのか。

青酸入りの菓子に日本中がパニック！

「泥棒！ 逃げた、逃げた」――。

兵庫県西宮市の高級住宅街の一角に女性の叫び声が響いたのは、昭和五九年三月一八日の夜九時三〇分のことだった。

この日、食品メーカーの江崎勝久グリコ社長（四二）宅に侵入した覆面姿の三人組は、「お金なら差しあげます」と叫ぶ美恵子夫人（三五）の口に粘着テープを貼ってトイレに閉じこめたが、金品を奪うことも、三人の子どもに危害を加えることもなかった。ただ、入浴中の江崎社長を裸のまま、連れ去ったのである。

翌三月一九日、犯人グループは「一〇億円と金塊一〇〇㌔」を要求。日本では、上場企業社長の拉致事件も初めてなら、身代金も史上最高額という"異例ずくめ"の誘拐劇だっただけに、新聞各紙は「欧米型犯罪の幕開け」と書きたてた。

ところが、発生から六五時間後の二一日、江崎社長は監禁されていた大阪府茨木市内の水防倉庫から自力で脱出。青いズボンに黒コート、泥だらけの素足という姿で鉄道作業員に助けを求め、救出されたのである。江崎社長は、犯人像や身代金の受け渡し前に犯人が消えた理由については多くを語らず、「怨恨説」や「裏取引説」もささやかれたが、まずは一件落着と思われた。しかし、現役社長を襲ったこの事件は、翌六〇年八月まで日本中を恐怖におとしいれる、警察庁広域重要指定一一四号「グリコ・森永事件」の序章にすぎなかった。

犯人グループは、四月二日に六〇〇〇万円を要求する脅迫状を江崎社長宅に送り、一〇日にはグリコ本社などに放火。ついには「グリコのせい品にせいさんソーダ入れた」と脅迫する。さらに標的を丸大食品、森永製菓などに変え、一〇月には関西のスーパーで「どくいりきけん たべたら死ぬで」と書いた森永製の

▲菓子売り場に向かう後ろ姿。ブレザーにスニーカーの服装。

▲レジの横で週刊誌を選ぶ男。身長約170センチと発表された。

▲パンチパーマの長髪に、巨人軍の野球帽をかぶっていた。

▲青酸菓子がおかれていた棚に右手を伸ばす、不自然な動作。

▲3月21日、監禁されていた水防倉庫から脱出、捜査員につきそわれて甲子園署に入る江崎勝久社長。

けいさつの　あほども　え

おまえら　うそ　ついたらあかんで
うそは　ドロボーの　はじまりや
ちょうせん状は　甲子えん　けいさつえも
おくったやないか　かくしたら　あかん
なきごと　ゆっとる　ようやから
また　ヒント　おしえたろ
工場えは　通用門から　はいった
タイプは　パンライターやポリよおきは
ひろいもんや

かい人21面相

毎日新聞社

◀4月21日、毎日新聞社に届いた「挑戦状」。この時から「かい人21面相」を名乗るようになった。

菓子一三個をばらまいたのである。〇・一から〇・二三ムグラと致死量の青酸が入っていたとあって、大パニックとなった。

商品が販売中止になったグリコや森永の打撃は深刻で、特にグリコは売上高が年間二四〇億円もダウン。食品会社にとって毒物イメージは致命傷なだけに、脅迫された八社は、取引に応じるか否かの選択を迫られ、業界全体が戦々恐々としたのだった。この間、「かい人21面相」の名で挑戦状をマスコミに送りつけ、警察無線に「キャラメルやろか、グリコやろか」と妨害電波を送る犯人グループ。

市民を観客に仕立て、マスコミを使って警察を徹底的に愚弄、舞台裏では企業心理をついて警察抜きの直取引を迫る犯行は、「劇場型犯罪」と呼ばれた。

“公安型”の捜査で失態を重ねた警察

それに対し、警察は深夜のカーチェイスに尾行劇と、幾度もあった逮捕の好機で失態を重ね、滋賀県警前本部長が犯人取り逃がしを苦に自殺する騒動まで起きる。一連の執拗な犯行は、昭和六〇年八月の犯行終結宣言によって幕を閉じ、犯人は姿を消すのだが、警察は一〇年間で二五万七〇〇〇人もの捜査員を投入しても、犯人を捕まえられなかったのである。「犯人グループの遺留品は脅迫状をはじめ百数十点、西宮市のコンビニのビデオがとらえた『ビデオの男』などの手がかりに寄せられた情報も数万件におよんだ。これだけの情報がそろいながら解決できなかった重大事件は警察史上、ほかにない」と語るのは、この事件を取材したジャーナリストの大谷昭宏氏である。

世界一の検挙率を誇っていた警察が、なぜ事件を解決できなかったのか。

「理由のひとつが“警察の縦社会”です。当初、兵庫県警や大阪府警、京都府警それぞれに捜査本部が分かれ、指揮系統もバラバラだった。そのうえ、秘密もれを恐れて徹底した『保秘』作戦が取られたため、重要情報を上層部が独占し、捜査員には最低限のことしか知らされなかった。こんな“縦割りの捜査”で逮捕できるわけがありません」(大谷氏)

捜査手法にも問題があった。たとえば昭和五九年六月、犯人が丸大ハムから一億円を奪おうと国鉄東海道本線(現・JR京都線)に社員が乗車するよう指示を出した際、“キツネ目の男”を尾行していた捜査員が高槻—京都間で見失ってしまう。「一網打尽にこだわり、『徹底的に泳がせて仲間との接触を待て』」と指示した捜査本部の作戦ミスだった。

“キツネ目の男”と目されて警察の取り調べを受けた元左翼活動家の宮崎学氏も、「右翼や、左翼の過激派関与の疑いが出てきたからと、思想犯や事件背景を重視し、容疑者を泳がせて一網打尽をはかる公安警察型捜査をとったからでしょう。それに、日本警察の捜査を支えてきたのは住民からのタレコミだったわけですが、市民との日常的接触が少ない大都会では情報収集もままならない。警察の伝統的捜査が通用しなくなっている現状を露呈したのが、この事件なんです」と語る。

グリコ社長の誘拐・監禁や恐喝未遂などについては平成六年に時効が成立し、唯一残った殺人未遂も平成一二年二月一三日に時効を迎えることになる。

それにしても、周到に“青酸パニック”を仕掛けた犯人は、実際に企業から金を奪った後に姿を消したのだろうか。

「現金強奪は陽動作戦でしょう。大勢の捜査員が確信しているように、犯人グループは世間を騒がせる一方、裏取引と足のつかない株価操作(外国で取り引きする『外人買い』など)で荒稼ぎした公算が高い。いずれにせよ、逮捕されることはまずないでしょうね」(宮崎氏)

「兵ご県の会社から　一億円とったで　かい人21面相」——この脅迫文を無視できないところに事件の本当の怖さがある。

▲10月7日、スーパーなどで青酸入り森永製品が見つかり、警察は厳戒体制を敷く。　読売新聞社

ちょっと違うかな…でも似ている
そんな人　いませんか!
ビデオの男
身長170cm位の男
似顔絵の男
身長175～178cm位のがっちりした体格の男
この2人は、グリコ・森永事件に関係すると思われる不審人物です。
お心当たりの方は、もよりの警察へ。
警察庁

▲“ビデオの男”“キツネ目の男”について、情報提供を呼びかけた警察のポスター。

女たちの肖像

「女三四郎」山口香の快挙！負けん気の強さでつかんだ日本女子柔道初の金メダル

稲葉真弓

日本女子柔道の歴史は浅い。柔道は男のスポーツという通念に加え、母体保護のため昭和五三年まで女子の試合は禁止されていた。それが、“解禁”なって六年目のこの年一一月、ウィーンで開かれた第三回世界女子柔道選手権大会で、柔道界のトップに躍り出た日本の「女の子」がいた。後に女子柔道ブームに火をつけることになった、愛称「女三四郎」の山口香(一九＝筑波大学二年生)である。

対戦相手は第一回大会の優勝者フロバット(オーストリア)で、地元ゆえ声援はフロバット一色。プレッシャーの中、彼女は場外ギリギリで相手を背負い投げしたが、反則と判定され強硬に抗議。これが功を奏して判定がひるがえり、日本初の金メダルにつながった。

檜舞台で判定に抗議した例は日本柔道界では前代未聞だそうだが、彼女のこうした負けん気の強さは、六歳で町の道場にかよい始めた時からすでに発揮されていた。

山口は昭和三九年、東京・豊島区で洋品店を営む両親の次女として生まれた。竹脇無我主演のテレビドラマ「姿三四郎」を見て柔道を志した彼女は、小・中学校時代、昼は学校、夜は道場がよいという生活を貫き、五三年の第一回日本女子柔道選手権大会五〇キロ以下級で、講道館育ちのツワモノ女子選手相手に、最年少の一三歳で優勝をはたした。

以来この天才少女は都立高島高校一年で黒帯(初段)になるなど、めきめきと成長。世界のトップに立った後も、得意技の小内刈り、寝技・立ち技のタイミングのうまさで“V”を重ね、昭和六二年には前人未到の一〇連覇を達成、女子柔道が公開競技として採用されたソウル五輪(六三年)でも銅メダルを獲得した。

「女三四郎」が引退したのはそれから一年後の平成元年七月。女子柔道全日本体重別選手権で江崎史子に敗れた時である。一一年間の現役生活で初めて味わった押さえこまれての敗戦。バルセロナ五輪をめざしていた彼女にとって、無念の引退だった。

この後は武蔵大学講師として、公開講座「エアロビクス柔道」を指導したり、母校の筑波大学女子柔道部コーチ、全日本柔道連盟の女子強化チームのコーチとして活躍。私生活では、平成五年JOC派遣コーチとして英国留学した折に知り合った英国人ビジネスマンとの間に一人息子をもうけ、日下、母親役と、日本女子柔道界の指導者としての日々を行き来している。

▲52キロ級決勝で積極的にフロバットを攻める山口。　毎日新聞社

勝者・敗者

「ハルチ、ウムチ、ツヅチャ」ロス五輪の体操個人総合で具志堅逆転優勝への“呪文”

阿部珠樹

「ハルチ、ウムチ、ツヅチャ」

具志堅幸司(二七)は演技を始める前、決まってこの“呪文”をつぶやいた。意味のあるフレーズではない。ただ、これを口にすると、不思議に自分の内面が充実してくるような気がした。高校時代の恩師に勧められて始めた習慣は、この年、ロサンゼルス・オリンピックの本番でも、忘れずに続けられていた。

この大会の男子体操は、幕が開くと、日本選手団にとって苦しい戦いの連続だった。ソ連、東欧諸国がボイコットしたこの大会は、場所がアメリカということもあり、技の正確性より観客にアピールする派手な演技に目が向けられ、高い得点が与えられるようになっていた。

その中で、日本選手の堅実な演技はいかにも印象が地味で、アピール不足は否めず団体戦ではアメリカ、中国に次ぐ銅メダルに甘んじなければならなかった。

「日本体操の時代は終わった」

そんな声がささやかれた。

個人総合に入っても、事態は変わらなかった。エース具志堅は持ち点五位からのスタート。メダルはともかく、優勝はとても無理と思われる位置である。だが具志堅はあきらめなかった。

二種目目のつり輪で四位、三種目目の跳馬では十点満点をたたき出して三位に浮上、先行するアメリカのビドマーをじりじり追いあげる。残るは二種目。具志堅が鉄棒に向かう。跳馬とともに、得意の種目である。また呪文を唱えた。「現状突破」が具志堅の信条である。苦境の時ほど精神は集中し、力が引き出される。

もちろん呪文の力もあなどれなかった。鉄棒の演技も着地を決めて九・九五。ほぼ満点に近い出来。この時点でついにトップに出た。最後の床でも、ミスのない演技を見せ、リードを守り切る。奇跡的な逆転優勝だった。

「この世に神様がいたなら、その力が私に演技をさせたのだろう」

優勝を決めた後、具志堅はそんな談話を残した。呪文の話は翌日まで秘密にしておいた。

ロイター／サンテレフォト

▲8月2日の個人総合、つり輪で9.95をマークし、逆転優勝に向かって波に乗る具志堅。

1月

読売新聞社

▲都内に15年ぶり大雪（1月19日）午後9時までに積雪が22センチに達し、空港、高速道路は閉鎖、交通網は大混乱。21日までに、595人が雪道などで転倒して入院した。写真は、国電有楽町駅前で。

▼「チビッコ玉三郎」デビュー（1月）旅まわり劇団の若葉しげる一座に12歳の女形・白龍光洋が登場、人気者になった。写真は4月下旬、川崎市の大島劇場で。

日刊スポーツ

疑惑の銃弾

重大新事実

夫が密かに億五千万円の保険金を受け取っていた事実も知られずに……

焼死した偽造パスポート男の

ベッドインから裸で飛び降り自殺

女子高生をトリコに

野末陳平のおカネ対談

ゲスト 梅沢富美男

朋友知己の「祝辞」が触れない

今週は「マルクス全集」

週刊文春

●1月26日号 定価200円

▲「週刊文春」、「疑惑の銃弾」連載開始（1月26日）ロサンゼルスで起こった日本人夫妻銃撃事件の犯人は夫ではないかとする内容。マスコミ報道が過熱。写真は19日付の新聞広告。

▶韓国の釜山でホテル火災（1月14日）大亜観光ホテル4階のサウナ室から出火、日本人3人を含む39人が死亡、80人が重軽傷。有毒ガス発生による窒息死が多かった。

ロイター／サンテレフォト

読売新聞社

▶三井三池有明鉱で坑内火災（1月18日）福岡県有明海の海底坑道が煙で充満、作業中の707人のうち83人が死亡した。初期消火の遅れなどで、戦後4番目の大惨事に。

読売新聞社

▲日本初の実用放送衛星打ち上げ（1月23日）愛称「ゆり2号a」。地上から送った電波を増幅、直接家庭に送る。難視聴地域の解消が目的で、5月12日、NHKが衛星放送開始。

昭和59年 1月

1（日）●サッカー天皇杯で日産がヤンマー破り初優勝。
2（月）●ビクター、米ゼニス社向けにゼニス社商標でのビデオ生産（OEM生産）を行うと発表。
3（火）●第一回ライスボウルで京大が日本一に。
4（水）●都銀一三行、提携サービス「BANCS」開始。
5（木）●渡部厚相、「原発造れば国民は長生き」と発言。
6（金）●多摩テックで遊覧鉄道が横転。一九人負傷。
7（土）●一人暮らしの老人が一〇〇万人突破と厚生省。
8（日）●桐生署、サラ金苦で老人殺害の主婦二人逮捕。
9（月）●東証ダウ平均株価が初めて一万円を突破。
10（火）●閣僚資産の公開基準決定。本人名義に限定。
11（水）●蓮田市で夫が単身赴任の主婦が子三人と心中。
12（木）●西武とヤマハ、レジャー開発で提携と表明。
13（金）●乾電池メーカー二三社、水銀対策を発表。
14（土）●韓国・釜山のホテルで火災。一一九人が死傷。
15（日）●ロス五輪聖火リレーの有料一般参加者募集に日本から申し込み相次ぐ、と外電。
16（月）●高校退学は「学校不適応」が急増と文部省調査。
17（火）●ロ事件被告の児玉誉士夫死去、公訴棄却。
18（水）●福岡県の三井三池有明鉱で火災。八三人死亡。
19（木）●家永三郎、第三次教科書検定訴訟を提訴。
●国連食糧農業機関、アフリカ二四ヵ国で一億五〇〇〇万人が深刻な飢餓状態にあると発表。
●九州から関東の太平洋岸で一五年ぶりの大雪。
20（金）●東京・三宅村議会、米艦載機訓練場拒否を議決。
21（土）●米、軍事衛星破壊ミサイル発射実験を発表。
22（日）●福島県の羽鳥湖でワカサギ釣りの二家族五人がテント内でガス中毒死。
23（月）●新日鉄、釜石の高炉一基休止など合理化提示。
●初の実用放送衛星「ゆり2号a」、打ち上げ。
24（火）●沖縄半島で前年秋に発見された昆虫が新種のヤンバルテナガコガネと判明。
25（水）●都内自動車電話が開設後初めて全面不通に。
26（木）●「週刊文春」、ロサンゼルスでの日本人夫妻銃撃事件に関し「疑惑の銃弾」を連載開始。
27（金）●米、対日貿易赤字が過去最高の二一六億六五〇〇万ドルと発表。
28（土）●核戦争描き全米で四六％の視聴率記録したテレビ映画「ザ・デイ・アフター」、広島で公開。
●京都・妙心寺、核シェルター建設に着工。
29（日）●川崎病は三年周期で多発と日赤医療センター。
30（月）●東京女子医大病院で入院中の同和団体最高顧問が三人組に撃たれ死亡。
31（火）●完全失業率が過去最高の二・六％と閣議報告。

ニュース・ファイル 1984

フォト＋日録で再現する366日

ラッコの赤ちゃん誕生、エリマキトカゲ、コアラ初来日と、動物の話題が豊富だった。ロス五輪ではカール・ルイスが四冠に輝き、柔道の山下や体操の具志堅も金メダルを獲得。そしてこの年、グリコ・森永事件が起こり、世間は「かい人21面相」に翻弄された。

◀コアラ君、初来日（10月25日）オーストラリアから友好親善使節として東京・多摩、名古屋・東山、鹿児島・平川の各動物園に寄贈される6頭が成田空港に到着、歓迎を受けた。写真は付き添い人と鹿児島に向かうコアラ。

朝日新聞社

日録20世紀1984 2〜3月

NASA／ユニフォト・プレス

▲**命綱なしの宇宙遊泳、初成功(2月7日)**スペースシャトル「チャレンジャー」から背中に推進装置を背負った二人の飛行士が飛び出し、91メートルの距離を往復。ＳＦが現実のものに。

ロイター／サンテレフォト

◀**ソ連のアンドロポフ書記長死去(2月9日)**腎臓病で長く病床にあったが、在任わずか15ヵ月、69歳で死去。写真は14日の国葬。右から3人目が新書記長のチェルネンコ(72)。

共同通信社

読売新聞社

▲**三重・鳥羽水族館でラッコの赤ちゃん誕生(2月23日)**飼育ラッコのお産は、日本では初めて。写真は母親のおなかで甘える赤ちゃん。ラッコは、近年乱獲により数が減少、国際保護動物になっている。

共同通信社

◀**自衛隊員が小銃乱射(2月27日)**山口市の陸上自衛隊山口駐屯地で射撃検定試験中に突然、同僚めがけて次々発砲。一人が死亡、3人が負傷した。ふだんの悪口のうっぷんを晴らしたかったという。

▼**ユーゴのサラエボで、冬季五輪開幕(2月8日)**社会主義国初。台湾が「中国台北」の名で中国とともに参加、注目を集めた。写真は10日、スピードスケート男子500メートルで銀メダルを獲得した北沢欣浩。

共同通信社

▲**大沢商会倒産(2月29日)**カメラやスポーツ用品の名門商社が、輸出の不振でダウン。負債総額1250億円、戦後3番目の規模だった。3月には、マミヤ光機が連鎖倒産。

昭和59年2月

1(水)●米、巡航ミサイル・トマホーク配備計画発表。
●中曽根首相、首相直属の教育臨調設置を決定。
2(木)●警察庁、パチンコ「フィーバー」の規制を通達。
3(金)●「環境ビデオ」作品が続々発売、と新聞に。
4(土)●東北自動車道で地吹雪で三〇台玉突き事故。
5(日)●高校生の子を持つ親が転勤の場合、七五・九%の家庭で親子別居と行政管理庁調査。
6(月)●金沢市の北陸鉄道野町駅で電車が車止めに衝突。五九人負傷。
7(火)●男性喫煙率が前年比四%減で最低と専売公社。
8(水)●松竹の大谷隆三社長、長男との口論で自宅に放火し全焼。家事従業者死亡(15日逮捕)。
●第一四回サラエボ冬季五輪、開幕(〜19日)。
9(木)●カネミ油症裁判で国が高裁の和解勧告を拒否。
10(金)●北沢欣浩、五輪スケートで日本初の銀メダル。
11(土)●駄菓子ブームで渋谷などに店増加と新聞に。
12(日)●植村直己、北米最高峰のマッキンリーに世界初の冬季単独登頂(下山途中消息を絶つ)。
13(月)●サッカーの釜本邦茂、現役引退を表明。
14(火)●鐘紡、転勤なし・基本給減六〇歳と、転勤あり・基本給増五六歳の選択定年制実施と発表。
15(水)●黒柳徹子、日本初のユニセフ親善大使に任命。
●S・マクレーン主演「愛と追憶の日々」封切。
16(木)●阪大の金在万助手、在日朝鮮人初の助教授に。
17(金)●国連環境計画、世界一〇〇ヵ国で四五〇〇万平方キロが砂漠化の危機に直面と発表。
18(土)●消防庁、放火が初めて出火原因一位と発表。
●伊とバチカン、ラテラノ協約に調印。カトリックが伊の国教でなくなる。
19(日)●対馬のカドミウム鉱害、二六年ぶり紛争解決。
20(月)●警視庁、新宿の個室マッサージ六店を初摘発。
21(火)●四、五十代の自殺が過去一〇年で倍増と判明。
22(水)●福岡市の死者四人を出した旅館火災で、経営者ら三人を保険金めあての放火容疑で逮捕。
23(木)●東京労基局、仕事による鬱病で自殺未遂の設計技師に、心因性精神障害で初の労災認定。
●電電公社など三社、一メガビットの超LSI開発。
24(金)●最高裁、石油危機時の闇カルテル事件で元売り九社の価格協定は有罪と上告を棄却。
25(土)●韓国で金芝河ら反体制派の政治活動規制解除。
26(日)●反日教組系の全日本教職員連盟、結成。
27(月)●陸自山口駐屯地で隊員が銃乱射。四人死傷。
28(火)●国鉄、汚物処理に使い捨てカセット方式導入。
29(水)●大沢商会倒産。負債一二五〇億円は戦後三位。

共同通信社

共同通信社

▼**精神病院でリンチ殺人(3月27日)**宇都宮市の宇都宮病院で、看護人による患者二人の暴行致死事件が発覚。栃木県警が土葬遺体を発掘(写真)、解剖し、事実を裏づけた。職員ら5人が逮捕された。

▲**日劇ミュージックホール最後のお色気(3月24日)**32年間の歴史を誇った"ヌード芸術"も、過激な性風俗の出現に太刀打ちできず閉幕。「蛍の光」を聞く踊り子たちの目に涙が光った。

読売新聞社

▲**財田川事件、再審無罪(3月12日)**昭和25年に起きた香川県の闇米ブローカー殺しで、死刑確定の谷口繁義被告に高松地裁が逆転判決。写真は34年ぶりに釈放され、兄弟と両親の墓参りをする谷口氏(中央)。

読売新聞社

共同通信社

▲**カネミ油症事件で国に過失責任(3月16日)**鐘淵化学によるＰＣＢ混入の食用油で、西日本一帯に1856人の中毒患者を出した事件に対し、二審の福岡高裁が、製造物責任に加え国の過失責任を認める判決。食品公害では初めてだった。

望月誠

時事通信社

▲▶**唐牛健太郎(46)死去(3月4日)**直腸癌のため、国立がんセンターで死去。全学連委員長として60年安保闘争で活躍した後、全国を放浪、漁師などもした。写真は東京・中野の宝仙寺での通夜。

◀**日本海で米空母とソ連原潜が衝突(3月21日)**米韓合同演習中の空母「キティホーク」の艦首に、ソ連原潜ビクターⅠ級型が接触。写真は翌朝、巡洋艦に付き添われ悠々と竹島西方海上を行くソ連原潜。

昭和59年3月

1(木)●兵庫県警の警部補、サラ金苦から銀行強盗。
●最高裁、カラオケ騒音は人格権の侵害と判決。
2(金)●宮崎駿監督「風の谷のナウシカ」封切。
3(土)●ダイハツ、中国への軽トラック技術譲渡契約。
●航行中の青函連絡船で放火火災。五人死傷。
4(日)●社会主義協会総会、「ニュー社会党」路線を右傾化と批判。理論対立で運営委員六人退任。
5(月)●都はるみ、「普通のおばさんに」と引退を表明。
6(火)●甲子園球場のスコアボードが電光掲示となる。
7(水)●サラ金大手四社に貸し倒れが急増と判明。
8(木)●米で二五年寝たきり女性の生命維持装置解除。
9(金)●大阪空港騒音訴訟、国が一三億円賠償で和解。
10(土)●浅田彰『逃走論ースキゾ・キッズの冒険』刊行。
11(日)●中国・福建省沖に停泊の日本貨物船に砲撃。
12(月)●高松地裁、財田川事件再審で谷口被告に無罪。
13(火)●報徳会宇都宮病院で精神病入院患者への虐待と二人死亡の事実が判明(4月、前院長逮捕)。
14(水)●途上国三八ヵ国が日本の市場開放要求と判明。
●国鉄品川駅貨物設備跡地の一般公開入札が行われ、興和不動産が一〇〇〇億円余で落札。
15(木)●日大大学院理工学研究科、在職のままでの社会人受け入れを決定し募集要項を発表。
16(金)●福岡高裁、カネミ油症事件で食品公害では初めて国の過失責任を認め賠償命令判決。
17(土)●少女非行対策で警視庁に女子特別補導班発足。
18(日)●江崎勝久グリコ社長、自宅から誘拐される(21日脱出。「かい人21面相」事件の発端)。
19(月)●NHK、被疑者・被告人に呼称つけると発表。
20(火)●大阪市に国立文楽劇場完成(4月6日開場)。
21(水)●演習中の米空母とソ連原潜が日本海で衝突。
22(木)●ILO、日本は過去一〇年で男女賃金格差が拡大した唯一の国と統計発表。
23(金)●中曽根首相、中国訪問し趙紫陽首相と会談。
24(土)●日劇ミュージックホール、閉場。
25(日)●全日本きもの装いコンテストで米人が初優勝。
26(月)●文部省など、高給の私学は補助金削減と決定。
●神戸製鋼、テレビ会議開設記念式を開催。
27(火)●日本電気、仏コンピュータ会社CII・ハネウェル・ブルと超大型機分野で提携と発表。
28(水)●宮崎県土呂久公害訴訟で住友金属に賠償命令。
29(木)●四二%の労組で組合員減少と労働省発表。
●旅券発行二〇九万件で女性が四割超と外務省。
30(金)●理研、筑波に遺伝子組み換えのP4施設完成。
31(土)●警視庁、暴力団資金源の屋台取締り強化指示。

共同通信社

◀**山中湖で東大生5人水死(4月15日)**新入生歓迎コンパで酔った6人が、定員3人の小舟(写真)に相乗り。岸から150メートルあたりで転覆し、一人だけが泳いで助かった。

ロイター/サンテレフォト

◀**ロンドンでリビア大使館発砲事件(4月17日)**反カダフィを叫ぶ亡命リビア人デモ隊に、大使館員が銃を乱射、10人が負傷、英警官が死亡した。写真は現場を包囲する英の武装警官。リビアは事件後、トリポリの英大使館を封鎖、22日、英国は国交断絶を宣告。

▼**日本商工会議所会頭・永野重雄(83)が辞任(4月11日)**昭和44年就任、政権に大きな影響力を持ち、大型合併によって新日鉄を誕生させた財界の重鎮だったが、前年以来療養中だった。後任は、東急電鉄社長の五島昇(左)。

読売新聞社

読売新聞社

▲**初の第三セクター、三陸鉄道開業(4月1日)**岩手県と関係市町村が75パーセントを出資。国鉄の赤字で廃止の3路線を肩代わりし、未開通部分を新設。八戸から気仙沼まで、1本の鉄道でつながった。

共同通信社

▶**現職警官が銀行強盗(4月24日)**大阪府池田市の幸福相互銀行に猟銃男が侵入、約120万円が奪われた。府警は翌日、サラ金苦の巡査長(43)を逮捕。防犯カメラがとらえた犯行現場。

◀**皇太子夫妻銀婚式(4月10日)**「ミッチー・ブーム」を呼んだ結婚パレードから25年。50歳と49歳のご夫妻は、記者会見で互いの労をいたわり合われた。

共同通信社

昭和59年4月

1(日) ●初の第三セクター、三陸鉄道開業。
●パリでアフリカの飢餓を救うための会議開催。
2(月) ●在日外国人指紋押捺反対決議が四一九議会に。
3(火) ●学生新聞会連合調査で日米安保肯定が五二%。
4(水) ●初の全盲弁護士・竹下義樹、京都弁護士会登録。
5(木) ●井上ひさし、劇団こまつ座を旗揚げ。
●国士舘大で総長退陣求め学生らが大学封鎖。
6(金) ●中国、大連・青島など一四市の対外開放決定。
7(土) ●日米牛肉・オレンジ輸入割当交渉、合意。
●石橋政嗣委員長ら社会党代表団、訪米。
8(日) ●初の禁煙週間に銀座で「楽しい禁煙パレード」。
9(月) ●住友ゴム、仏ダンロップ社を買収と発表。
●三陸海岸東方四〇〇キロ上空で日航機など三機が、核爆発時のキノコ雲状の雲を目撃。
10(火) ●五九年度予算成立。防衛費は六・五五%増加。
●宮本共産党議長、社共共闘を当面断念と表明。
11(水) ●米連邦取引委、トヨタとGMの合弁事業認可。
12(木) ●ニカラグアにCIA支援の反政府ゲリラ・コントラ侵攻(5月国際司法裁、米に中止命令)。
13(金) ●朝日ジャーナル、「若者たちの神々」連載開始。
14(土) ●東京ディズニーランドを経営するオリエンタルランドが五億円の所得隠しで追徴と判明。
15(日) ●減反で秋田県大潟村初の一家離村と新聞に。
16(月) ●データベース振興センター、発足。
17(火) ●ロンドンのリビア大使館から反カダフィ・デモに発砲、一一人死傷(22日、英、断交)。
18(水) ●内閣法制局、玉ぐし料公費支出は違憲と見解。
19(木) ●東京・銀座の宝石店に強盗。金塊一億円を強奪。
20(金) ●国鉄運賃値上げ。初めて地域格差を導入。
21(土) ●焼酎がふえウイスキー抜くと『お酒白書』。
22(日) ●パリ郊外のソニー・フランス社で爆発事件。
23(月) ●持ち帰り弁当の「ほっかほっか亭」、類似名称の業者に対し看板撤去などの仮処分を申請。
24(火) ●米の核専門家W・アーキン、米軍三沢基地に有事の際の核兵器貯蔵庫があると暴露。
25(水) ●横浜地裁、川崎市の金属バット殺人事件(昭和55年)の元浪人生に懲役一三年判決(確定)。
26(木) ●レーガン米大統領、初の公式中国訪問。
27(金) ●経済対策閣僚会議、包括的対外経済対策決定。
28(土) ●多摩川に前年の二倍の稚アユが遡上と確認。
29(日) ●町田市の東急田園都市線つくし野駅前で日本初の「駅前オペラコンサート」開催。
30(月) ●大阪・道頓堀の角座、閉場。
●サラ金規制法半年で自己破産が三倍と新聞に。

証言・あの日この日
ビートたけし(37)

共同通信社

5月4日(金) 〈なに、あの浅田っての。スキゾだのパラノだのってさ。逃げなきゃいけないなんてわけわかんないことといって。オイラのことを、フジテレビの横沢サンが、「タケちゃんは浅田彰がいうところの典型的なスキゾ型人間だ」っていうんだけど、オレはスキゾ型人間なんかじゃねェぜ。/別に逃げちゃいねェものな。逆に、お笑いってのはパラノイアなんだよ〉(ビートたけし『毒針巷談』)

ビートたけし(北野武)は、漫才ブームが去った後も、ますます毒舌パワーを発揮。活躍の舞台もテレビ、雑誌、映画、ライブとととどまることを知らない。その生き方は、当時『構造と力』で一世を風靡した京大助手・浅田彰の逃走哲学を実践しているように見えた。だが彼自身は、適当に逃げまわるスキゾ型人間ではなく、偏執狂的なパラノ型人間だ、と反論する。(山崎行太郎)

読売新聞社

▲**都道放射5号線、開通強行(5月30日)**住民の反対により昭和50年来閉鎖していた杉並区高井戸地区700メートルの開通を、東京都が強行。住民約200人が車公害、安全性などの問題を棚上げにした開通に抗議、座りこみを行ったが、警官隊に強制排除された。

共同通信社

▲**高見山引退(5月20日)**大相撲夏場所千秋楽、十両で迎えた前人未到の1654回目の土俵が、最後となった。39歳。ハワイ出身で、外国人初の関取。持ち前の明るさからテレビCMでも活躍、幅広い人気があった。

▶**猫田勝敏しのび日ソ対抗バレー(5月21日)**前年、胃癌のため39歳で死去した元全日本チームのセッター、ミュンヘン五輪金メダリストの追悼試合が、ソ連の申し出で実現。猫田の故郷・広島の県立体育館で行われた。

読売新聞社

◀**山口百恵、母の喜び語る(5月6日)**4月30日に男児を出産し、この日、東京の山王病院を退院、「やんちゃ坊主に育てたい」と、夫・三浦友和とともに記者会見。百恵(25)は昭和55年、人気の絶頂で引退していた。

読売新聞社

▶**史上初の三兄弟関取誕生(5月23日)**番付編成会議で、井筒部屋の寺尾の十両入りが決定。これで長男・福薗、次男・逆鉾、三男・寺尾と全員が十両以上を経験。写真は父親である親方(元鶴ケ嶺)をかつぐ左から福薗、寺尾、逆鉾。

時事通信社

昭和59年5月

1(火) ●第五五回メーデー、政党代表の挨拶を廃止しスローガンを一九年ぶりに変更。
2(水) ●昭和石油とシェル石油、対等合併を発表。
3(木) ●国保有の個人情報は八億八〇〇〇万件と判明。
4(金) ●離婚による母子世帯が初めて夫との死別世帯を上回ると厚生省発表。
5(土) ●神戸市の阪急六甲駅で電車衝突。七二人負傷。
6(日) ●三菱重工、中国と発電用原子炉容器輸出契約。
7(月) ●宮沢喜一、積極的な「資産倍増」政策を提唱。
8(火) ●ソ連、ロス五輪への不参加を発表。
9(水) ●「M資金小切手」による三億円詐取事件発覚。
10(木) ●「かい人21面相」、毒入りグリコ製品配布を通告。大手スーパーなど販売を中止。
11(金) ●五島昇、日商会頭に就任。
12(土) ●NHK、衛星放送を開始。
13(日) ●東京都学校薬剤師会、冷水機の飲料水から基準超える重金属検出と調査結果発表。
14(月) ●魚の鮮度判定紙を西武流通グループが開発。
15(火) ●環太平洋五ヵ国合同演習「リムパック'84」開始。
16(水) ●那覇市で一フィート一〇〇円基金運動による沖縄戦記録フィルム上映会開催。
17(木) ●最高裁、五六年都議選の定数格差違法と判決。
18(金) ●父母の一方が日本人なら日本国籍認める国籍法・戸籍法の改正案成立。
19(土) ●物理学者四三人、サハロフ救済をソ連に要望。
20(日) ●高見山、引退。年寄東関を襲名。
21(月) ●警視庁、台湾から密輸の覚醒剤四三キロを押収。末端価格は八六億円で押収量は過去最大。
22(火) ●南極鉱物資源非公式協議開催。一六ヵ国参加。
23(水) ●卒業式で教職員が「君が代」を歌ったか、福岡県教委が校長に調査させていたと判明。
●寺尾、十両昇進。大相撲史上初の三兄弟関取。
24(木) ●日曜の都心は平日比〇・四度低いと学会発表。
25(金) ●全国で発信器などを積んだ正体不明の気球が、この日までに三九二個発見される。
26(土) ●塩野義製薬、遺伝子組み換え医薬品「ヒト・インシュリン」輸入を申請(翌年11月承認)。
27(日) ●全国で一〇万人がトマホーク配備反対集会。
28(月) ●日本最大の帆装タンカー「第一協栄丸」完成。
29(火) ●住都公団、谷津遊園跡地を二四〇億円で買収。
30(水) ●カンボジアのシアヌーク大統領、来日。
31(木) ●第二電電企画設立(10月9日日本テレコム、11月14日日本高速通信、設立)。
●総会屋接待の百貨店・伊勢丹幹部ら五人逮捕。

ロイター／サンテレフォト

▲ナブラチロワ、グランドスラム達成(6月9日)テニスの全仏オープン女子シングルス決勝でエバートを破り、前年のウィンブルドン、全米、全豪に加え史上5人目の四冠を達成。100万ドルのボーナス賞金を手中にした。

時事通信社

◀降りしきる火山灰(6月4日)桜島の噴火で鹿児島市の降灰量が、午前9時までの24時間で観測史上最高の1平方メートル当たり1080グラムを記録。市街地では商店街は休業状態、傘をさして歩く人々の姿が目立った。

共同通信社

▲熊本県五木村で山崩れ(6月29日)断続的な集中豪雨のため、地盤がゆるみ土砂が麓を襲って、5戸が押しつぶされた。14人が生き埋め、救援途中にも一人死亡した。写真は、必死の救出作業を続ける自衛隊員ら。

共同通信社

▶核疑惑の米原潜、横須賀港入港(6月14日)核巡航ミサイル・トマホーク配備可能の原潜「タニー」。米当局は「未配備」と言明したが、市民団体らは「日本が核戦場になりかねない」と、数次の抗議集会を行った。

共同通信社

▲指紋押捺拒否に有罪(6月14日)外国人登録法違反が問われていた米人女性の「制度自体が人権侵害だから無罪」の訴えに対して、横浜地裁は「同一人性を明確にする手段として必要」と、罰金1万円を言い渡した。

▼日本女子アマゴルフ女王は15歳(6月22日)山口の周南CCで行われた選手権で、愛知淑徳高1年の服部道子が優勝。かつて母親も優勝しており、史上最年少で、しかも初の親子チャンピオンになった。

中日新聞社

昭和59年6月

1(金)●農水省、韓国からの食用米緊急輸入を決定。
2(土)●「かい人21面相」、寝屋川市でアベックを脅迫し、男を運搬役に三億円奪取を試み失敗。
3(日)●関東中心一〇都県で環境美化運動の日、一四七万人が空き缶一七四四万個などを回収。
4(月)●桜島噴火(3日〜)。観測史上最高の降灰量。●中曽根首相、核使用は保有国の勝手と発言。
5(火)●インド政府軍、民族自決求めるシーク教徒のゴールデン・テンプルに突入し制圧。
6(水)●春日井市の幼児殺傷の猟犬飼い主に禁固刑。
7(木)●ロンドン・サミット、開会。
8(金)●社会党全国政策研究集会、開催。堤清二・小林宏治ら財界人を初めて招聘。
9(土)●韓国米輸入に抗議し宮城県で休耕田に田植え。
10(日)●国鉄増収キャンペーンで静岡の鉄道公安室も営業活動、検挙率が激減と新聞に。
11(月)●武蔵野市のコンピュータシステム開発会社からプログラム盗み新会社を設立した三人逮捕。
12(火)●行管庁、都市近郊の深夜交通拡充を勧告。
13(水)●マンガ使った学習参考書出版相次ぐと新聞に。
14(木)●米中、対戦車・対空ミサイルの中国売却合意。
15(金)●東京の百貨店でエリマキトカゲが日本初公開。
16(土)●警視庁、金髪に染め隆鼻術を受け、米軍人をよそおい四五〇〇万円詐取の結婚詐欺師逮捕。
17(日)●「普通より幸せ」は六四㌫と総理府世論調査。
18(月)●女子刑務所は平均一三㌫の定員超過と新聞に。
19(火)●ブリヂストン美術館購入のルノアール「少女」、競売会社の修整で表情が変化と判明。
20(水)●大江健三郎ら一一二人、「非核五原則」を提唱。●前橋市のPTA連合会が校内暴力被害を賠償する保険勧誘を推進していると判明。
21(木)●警視庁、グリコ脅迫し三億円要求の中三補導。
22(金)●山菜ブームで中ソからの輸入物増加と新聞に。
23(土)●夏目雅子主演「瀬戸内少年野球団」封切。
24(日)●ミッテラン政権の補助金削減など私学規制法案に、パリで保守派一五〇万人の反対デモ。
25(月)●富士通、スーパーコンピュータを米アムダール社にOEM供給と発表。初の米市場進出。
26(火)●熊本名産の辛子レンコンの食中毒で死者発生。
27(水)●農業就業者の四割強は六〇歳以上と農水省。
28(木)●利根川進ら、T細胞受容体の遺伝子分離成功。
29(金)●米ソ、宇宙軍縮交渉開始で合意。
30(土)●日本人の平均寿命は男女とも世界一と厚生省。●サラ金準大手のヤタガイ、倒産。

「現場」を歩く 斐川町

“出雲の国”荒神谷遺跡が発信する古代史ロマン

山本徹美

▲現在は、昭和59年(写真左)と60年の発掘現場がそのまま再現されている。 但馬一憲

昭和五九年七月一二日夕刻、島根県の荒神谷遺跡を試掘調査中の地元教育委員会担当者が大量の銅剣を発見した。

荒神谷こと簸川郡斐川町神庭字西谷が遺跡に指定されたのは前年四月。広域農道建設に先立ち、踏査を行っていた係員が周囲一〇㌢たらずの須恵器片を発見。同町教育委員会文化課の宍道年弘主任が振り返る。

「たった一片の土器のかけらが大発見につながった。幸運としか言えません」

銅剣は概算でも三〇〇口に達する。それは、過去わが国で発見された銅剣の総数に匹敵した。驚いた関係者は、島根大学や奈良国立文化財研究所に応援を依頼し慎重に発掘を進めることにした。

同八月三〇日、銅剣の総数は三五八口と確認された。それらは鋒と茎を交互に整然とそろえ、四列に並べてあった。

奈良国立文化財研究所では地下レーダや浅部電磁法探査装置、金属探知器を導入、さらに探査を進めたところ、銅剣出土箇所から東へ約七㍍の地点で金属反応を探知。六〇年七月一九日、銅鐸六個を発掘。同八月一六日、その東わずか一〇㌢の場所からなんと銅矛が出現。銅矛の総数は一六本、これも銅剣同様、鋒と茎が交互になる並べ方だった。

青銅器がなぜ埋められたかは古代史の謎だった。が、この発掘により埋め方には一定の法則性があると認められ、「祭祀埋納説」が、がぜん有力となる。

銅矛と銅鐸が同一の場所から出土したのは初めてで、これは和辻哲郎以来の“定説”、弥生時代における銅剣銅矛文化圏と銅鐸文化圏の対立図式をくつがえす新発見となったのである。

日本海
出雲空港
松江市
宍道湖
出雲大社
出雲市
荒神谷遺跡
(斐川町)
岩倉遺跡
(加茂町)
島根県

先祖の遺産

荒神谷遺跡を訪ねてみた。出雲空港から車で南西へ約一〇分。神庭荒神谷史跡公園という案内板が立ち、見ると交流の広場、荒神谷遺跡、古代村と三つのゾーンに分けてある。総面積二七・五㌶。資料を展示した「出雲の原郷館」は昭和六二年に開館。初年度の入館者は二万五〇六二人だったが、平成七年度には一一万人を突破。同館職員に見学者の印象を訊く。

「バスツアーのお客さんもいますが、考古学に興味を持つ成人男女が多いです」

平成九年五月二〇日、建設省と文化庁は「文化財を活かしたモデル地域」を全国から一〇地区選出。そのひとつに荒神谷遺跡と加茂岩倉遺跡(大原郡加茂町)、西谷墳墓群(出雲市西谷町)が「古代出雲王国の里」として選ばれた。斐川町文化課の富岡俊夫課長の言葉がはずむ。

「モデル地域で予算がつけば、環境を整備し、観光収入も見こめる。荒神谷遺跡がわが町に経済効果をもたらしたかっこうです。それより何より町民に元気を与えてくれた精神的効果の方が大きい」

弥生人が何を祈って銅剣などを埋納したかは不明だが、子孫にしてみれば偉大な遺産となったことだけは明白である。

◀昭和五九年夏に発掘された大量の銅剣。弥生時代中期末から後期初め頃の製作と推定されている。

共同通信社

ベストセラー

㊎、ⓑの分類が流行語に！『金魂巻』が描く〝経済大国〟

経済大国を謳歌するようになったこの頃、軽いタッチの批評がさまざまな装いで刊行され、人気を呼んだ。そのひとつに、渡辺和博とタラコプロダクションによる『金魂巻』がある。サブタイトルは〝現代人気職業三十一の金持ビンボー人の表層と力と構造〟とあるが、金持ちの典型と貧乏人の典型を並べながら、経済大国の実態を面白おかしく見せた本だった。いかにも派手そうな、女性アナウンサー、イラストレーター、コピーライターなどを俎上に載せ、固有名詞を遠慮なくストレートに記すなどリアリズムに徹し、時代の雰囲気をいろいろな角度から描き出してみせた。そして、この本における現代人の基本的分類法である㊎（まるきん）、ⓑ（まるび）は、大いなる流行語ともなったのである。

また、前年の江本孟紀のベストセラーに続いて、この年もプロ野球の面白暴露ものがヒットした。すでにテレビタレントとして活躍していた、元プロ野球選手・板東英二の『プロ野球知らなきゃ損する』がよく売れた。その独特の語り口をそのまま生かし、ライブを楽しむ感覚で読ませたのである。

なお翻訳ものでは、『ジャッカルの日』や『オデッサ・ファイル』などのサスペンス小説で日本でも人気のあるフレデリック・フォーサイスの、五作目の長編小説『第四の核』がベストセラーになった。宝石泥棒の話から始まるこの小説は、次第に東西の諜報機関の活動をこと細かに追いながら、ソ連の最高指導者が極秘裡に進める作戦へと進んでいく。フォーサイスならではの、取材による裏づけを感じさせるリアリズムと、ストーリー展開の早さで人気を呼んだ。

●昭和59年のベストセラー

1位『プロ野球知らなきゃ損する』(板東英二／青春出版社)
2位『プロ野球これだけ知ったらクビになる』(板東英二／青春出版社)
3位『ソープバスケット(1・2)』(日本フラワー技芸協会編／二見書房)
4位『愛情物語』(赤川次郎／角川書店)
5位『メインテーマ(PART1〜3)』(片岡義男／角川書店)
6位『人生汗と涙と情』(浅尾法灯／講談社)
7位『新常識わが家の銀行利用法』(野末陳平他／青春出版社)
8位『愛、見つけた』(小林完吾／二見書房)
9位『告白ハンパしちゃってごめん』(高部知子／KKワニブックス)
10位『第四の核(上・下)』(F・フォーサイス／角川書店)

全国出版協会出版科学研究所

▲『金魂巻』(主婦の友社、880円)

▲『プロ野球知らなきゃ損する』(690円)

▲『第四の核』(上・下各1300円)

スターと名場面

伊丹十三、和田誠の初監督で話題の「お葬式」「麻雀放浪記」

この年、映画俳優・伊丹十三が監督としてデビュー、その作品「お葬式」を堂々とヒットさせた。自分の父親の急死という事態を受け、初体験の葬儀をなんとか仕切る男を主役にして、葬式の実際をことの順を追って具体的に描いたもの。コミカルなエピソードが積み重なる、ユニークな葬式映画となった。観客に中高年層が多かったことも話題を呼んだ。

また、デザイナーの和田誠も、この年「麻雀放浪記」で映画監督デビューをはたし、イラストや文章で示してきた独特の映画センスを随所に見せた。原作は阿佐田哲也の人気小説。映画では、特異な価値観を持つ、博奕打ちの世界を描きながら、戦後混乱期をモノクロームの画面で鮮やかに映像化して見せた。

「麻雀放浪記」では脚本を手がけた沢井信一郎監督が、映画ならではの仕掛けと構造を備えた「Wの悲劇」を撮って好評を得た。劇中劇という基本形を持つ映画だったが、すべてが現実に見える映画の利点を最大限に活用して、緊迫した作品となった。

この年、ほかに次のような作品が公開された。かっこ内はおもな出演者。「チ・ン・ピ・ラ」(柴田恭兵)／「ワンス・アポン・ア・タイム・イン・アメリカ」(ロバート・デ・ニーロ)

伊丹プロダクション提供

▲「お葬式」で主役を演じて好評だった山崎努(左)と、その妻役の宮本信子(右)。二人はその後も伊丹作品の主要なキャストとなった。

▼「Wの悲劇」でスター役を演じた三田佳子(右)と、新人女優役の薬師丸ひろ子(左)の演技は、ともに高い評価を得た。

角川書店提供

▲「麻雀放浪記」で原作者の分身と思われる若者を真田広之(中央左)が、また真の博奕打ちと目される男を鹿賀丈史(同右)が、戦争で傷を負った男を名古屋章(同中)が、それぞれ好演した。

角川書店提供

モノ語り'84

商品開発はまず〝コンセプト〟からを実証！「プラス・チーム・デミ」「禁煙パイポ」「システム手帳」「ニッカピュアモルト」

▶**手のひらに乗る本格文具セット** ハサミやスケール、テープなど7種類の文具を統一したイメージで作り、これを発泡ポリエチレンのマットにはめこみ、手のひらサイズのケースに納めた文具セット「プラス・チーム・デミ」がプラスから発売され、大ヒットした。小型で持ち運びに便利という点も評価されたが、むしろかわいらしくて洒落たデザインという付加価値が、人気を呼ぶ要因となったのである。2800円という価格もギフト向けに最適だった。

▲**システム手帳の時代が始まった** イギリスのノーマン&ヒル社が生産してきたバインダー式手帳「ファイロファックス」をエイペックスが輸入販売したところヒット、いわゆるシステム手帳ブームの先駆けとなった。B6判ほどの大きさで6穴式。1冊3万6000円という高価格にもかかわらず、初年度1万冊が売れ、〝スーパー手帳〟という愛称も生まれた。

▼**デザインも好評だったウイスキー** モルト原酒100パーセントのウイスキー「ニッカピュアモルト」がニッカウヰスキーから発売された。そのナチュラルな香りと味もさることながら、シンプルな透明丸瓶と、付属品のコルク栓、それにボール紙製のあっさりした箱などが作り出す雰囲気が、ピュアモルトの名とフィットして、人気を獲得、たちまちヒット商品となった。ブラックとレッドの2種類あって、どちらも2500円と手頃だった。

▲**ついに出た、超小型テレビ** 1万円札とほぼ同じ大きさで重さは450グラムという、ポケットカラーテレビ「テレビアン」がセイコーエプソンから8万4800円で発売された。厚さ2ミリという超薄型の液晶カラーパネルの開発が、従来のブラウン管では考えられなかった小型のカラーテレビを現実のものとした。

◀**高価でも健康増進機器として効果的** 本来は体力測定機器として開発された自転車エルゴメーターだが、輸入品は測定が不安定という大きな欠陥を持っていた。そこで独自に国内で開発され発売されたのが、コンビの「エアロバイク」で、運動中の心拍数を耳たぶで測定するなどの新たな工夫を凝らし、使用者の体力にあった有酸素運動ができる機器として人気を呼んだ。35万円と45万円という高価なものだったが、まずは運動施設に設置され、やがて一般に知られていった。

◀**清潔感を追求したうがい液** ワーナー・ランバートが発売した口臭防止液「リステリン」が評判になった。原液をそのまま口に含みうがいをすることで、口臭を防ぎ、口腔内の汚れを取り、さらに歯磨き後に使えば、虫歯予防にもなるという効能に、期待が集まった。350ミリリットル760円だった。

▶**健康のためにタバコをやめる方法** やめようと思ってもなかなかやめられない愛煙家のために、〝すいながらタバコをやめる〟をキャッチコピーにした禁煙者向けのパイプ「禁煙パイポ」が、アルマンから売り出され大ヒットした。落語の「寿限無(じゅげむ)」からヒントを得たパイポという名称や、冗談めかしたテレビCMがもたらした軽いイメージが、健康志向の新しい市場を開拓した。

人物クローズアップ

稲盛和夫(五二)

"幸福"追求で自由化に挑戦! 京セラ哲学で第二電電を設立

「わが国が高度情報社会を迎えるにあたりぜひとも通信コストを下げなければならない。この事業に命をかけて取り組む」

昭和五九年五月三一日、この日発足した第二電電企画の会長・稲盛和夫(五二)は、こう決意を語った。第二電電は、翌六〇年四月一日から自由化される電気通信事業への新規参入をめざしていた。設立の中心となったのは稲盛率いる京セラで、それにセコム、ソニー、ウシオ電機、三菱商事を加えた五社が発起人となり、最終的に二二五社が出資した。

稲盛には独特の人生観と事業方針がある。その人生観とは「私心を持たず、世のため人のために尽くす」というもので、「客のいかなる注文にも応じる」「あらゆる手段を尽くしてコストを下げ、客の言い値で売る」という事業方針と密接に結びついている。第二電電設立の決め手はそこにあった。このやり方なら通信コストはかならず下がるし、同じことを巨大企業ができるはずはない、と稲盛は読んでいた。設立以後、携帯電話の急速な普及もあって、第二電電の業績はめざましい。ちなみに、平成九年三月期の売上高は五五八〇億円、経常利益は六七八億円である。

中野晴生

◀京セラの一九八二年度経営方針発表会"決起コンパ"で、社員と熱っぽく語り合う稲盛(右端)。

京セラ提供

稲盛は、昭和七年一月三〇日、鹿児島市生まれ。二六年、鹿児島市立玉龍高校卒業後、大阪大学医学部を受験したが失敗、鹿児島大学工学部応用化学科に入学した。三〇年、応用化学科をトップで卒業、帝国石油の入社試験を受けたが不合格となり、京都の高圧線碍子メーカー・松風工業に入社する。

稲盛が頭角を現すようになったのは、特殊磁器(ファインセラミックス)の研究・開発にあたるようになってからだった。ほかの部門がことごとく赤字なのに、稲森は自分の担当部門を唯一の黒字にしてしまったのである。しかも、そのリーダーシップが際立っていた。稲盛はがぜん全社から注目される存在となったが、新任の技術部長と衝突して退社。昭和三四年四月、仲間八人と京都セラミック(現・京セラ)を設立する。

技術者出身の経営者として、稲盛の存在は圧倒的である。四一年、三四歳で社長に就任。四六年に東証二部、四九年には一部上場をはたし、五七年、社名を京セラに変更。そして六一年、稲盛は会長に就任した。京セラを三〇年たらずで日本の超優良企業に育て上げ、また第二電電(DDI)を、ほかの新規参入通信会社を圧倒する企業に育て上げた手腕の秘密はどこにあるのか。

京セラには「京セラ・フィロソフィ」という社是社訓がある。会社に浸透した稲盛独特の経営哲学だが、第二電電の設立趣旨にもそれがある。「事業は幸福追求のために行う。人の役に立ち、自分も幸せであるために」。これが稲盛の基本的な事業観、企業観である。

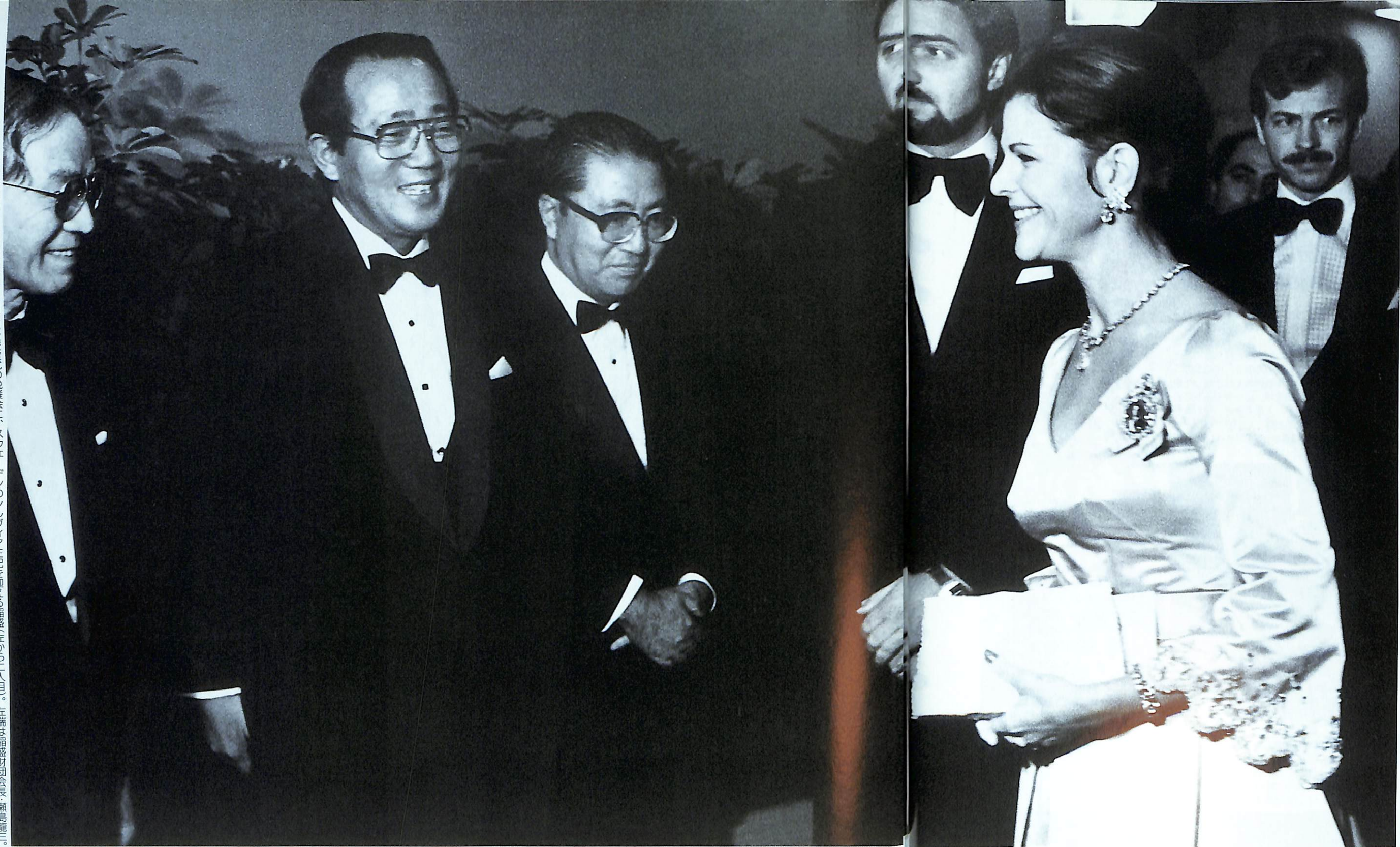
昭和五九年、二〇〇億円の私費を投じて稲盛財団を設立、京都賞を創設した。これも稲盛の哲学からくるものである。

第二電電の名誉会長に退いたのは、平成九年六月。そして同年九月、臨済宗妙心寺派円福寺で得度、仏門の人となった。

「六五歳になるのを機に、あらためて仏門の勉強をして自分の哲学を完成させたいし、人様のお役に立つこともしていきたいとの考えで仏門入りした。この一回しかない人生の中でどういう生き方をしていけばいいのかを、さらにきわめていきたい」

と稲盛は語るのである。

▶昭和六〇年一一月一〇日、第一回京都賞授賞式の晩餐会に、スウェーデンのシルヴィア王妃を迎える稲盛(左から二人目)。左端は稲盛財団会長・瀬島龍三。

決定的瞬間

インド、ボーパールの〝悪夢〟米多国籍企業の工場から有毒ガス二五トンが流出！

インドのカメラマン、パブロ・バーソロミューの撮った一枚の写真には、幼い子どもの死に顔が写っている。この子どもは、いつものように眠っていただけである。しかし、真夜中に工場から漂ってきた有毒ガスは子どもを襲い、逃げ出す暇もなく幼い命を奪った。

事故が起きたのは、インド中央部マッディヤ・プラデシュ州の州都ボーパールという人口約七〇万人の都市であった。一九八四年一二月二日の夜一一時半頃から三日の未明にかけて、町の北端、ボーパール駅から一キロのところにある、米ユニオン・カーバイド・インド社（米国の多国籍企業ユニオン・カーバイド社とインド民間企業による合弁会社、一九六九年操業開始）の殺虫剤製造工場から、約四〇分間にわたって有毒ガス、イソシアン酸メチルがもれ出した。

半地下に貯蔵されていた殺虫剤の原料であるイソシアン酸メチル（冷却して液状で貯蔵）が、なんらかの原因で化学反応を起こし、タンク内の温度が上昇（三八度で沸点に達する）、二五トンもの大量のガスが、安全弁からもれ出したのだ。

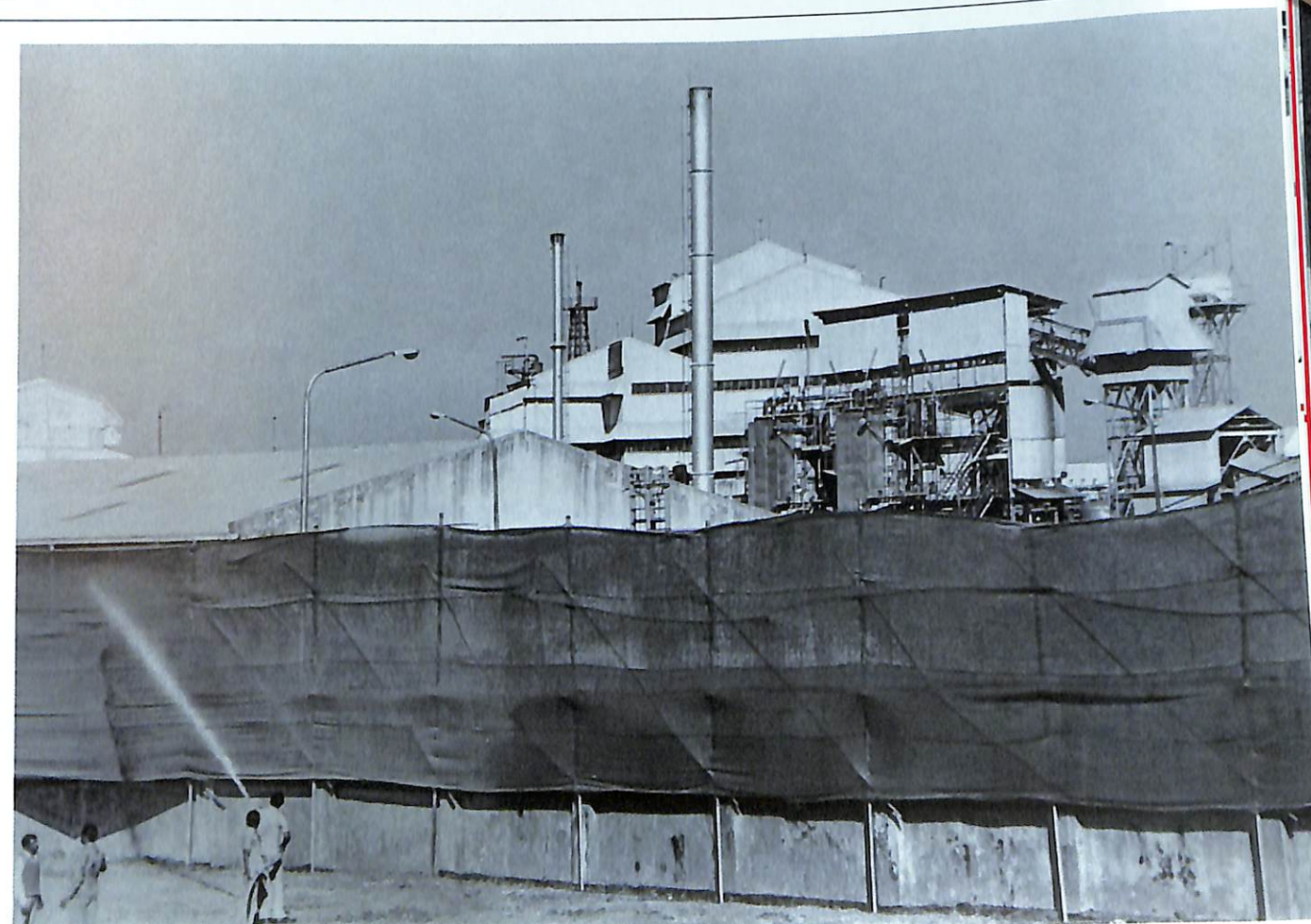
この工場は過去にも少量の有毒ガスもれを起こしており、一九八二年の安全調査で、安全弁の不良などを指摘され、この年の六月にも「問題あり」と報告されていた矢先である。こうした危険性の指摘がなされていたにもかかわらず、経営効率を重視する会社は十分な改善を行っていなかった。

有毒ガスはスモッグとなり、折からの北風に乗って真夜中の寝静まった町に流れ出した。周辺住民に警報のサイレンが発せられたのは、事故が起きてから三時間後だった。

現場にいち早く入ったインド国営UNI通信記者は、「パニック状態の中で、市内ほぼ全域が恐怖のガス室と化し、市内のすべての病院が、さながら難民キャンプのような状態だ」と報告している。

病院に駆けこんだ人々は、めまい、胸の痛み、吐き気、息苦しさ、目の痛みなどを訴えていた。しかし病院にまでたどり着けた人はまだ幸運で、老人、子ども、女性の多くは有毒ガスから逃げ出すこともできなかった。

翌日には、ボーパール州立ハミディア病院だけで一万二〇〇〇人の住民を治療し、五〇〇人以上の死亡者が確認された。死者の棺を運ぶ行列が町にあふれ、その多くが子どもの遺体だった。日本の新聞社の特派員報告によると「工場近辺では牛の死骸が放置され、さながら死の町と化していた」（『朝日新聞』昭和五九年一二月五日）という。なお、四日にはラジブ・ガンジー首相が「インド政府は今後、人口密集地で危険物質を生産することは認めない」と声明を発したが、遅きに失したと言えるだろう。

死者二六〇〇人以上、約五万人に肺機能や筋力低下の障害が見られ、総計一〇万人が被害を受けたと考えられている。この史上最大の「産業災害」は、人件費の安い開発国に危険な工場を持ちこむ、多国籍企業の倫理の問題も鋭く告発した。

▲事故を起こした工場。農産物増産のため、政府が誘致した企業のひとつだった。 PANA通信社

◀ユニオン・カーバイドの毒ガス流出事故による幼い被害者の埋葬。産業災害のおそろしさを強烈に訴えたこの写真は、一九八四年国際報道写真賞を受賞した。

パブロ・バーソロミュー（Gamma）／インペリアル・プレス

◀『旅の絵本』より。この本は、昭和53年、国際児童年のためのアンデルセン賞特別優良作品に選ばれた。
福音館書店（絵本3点とも）

美の出会い

『ABCの本』『旅の絵本』など安野光雅のほのぼのとした世界国際アンデルセン賞を受賞！

昭和五九年、画家の安野光雅（五八）が、児童文学のノーベル賞と言われる国際アンデルセン賞画家賞を受賞した。この賞は、児童文学がノーベル賞の対象にならないことから、国際児童図書評議会（IBBY）が「小さなノーベル賞」として創設したもので、二年に一度の偶数年に、子どものために優れた作品を書いた作家と画家に与えられる賞である。

安野光雅は、昭和四三年に『ふしぎなえ』（福音館書店）でデビューして以来、『ABCの本』『旅の絵本』など七〇冊におよぶ著書を刊行しており、その業績が評価されたのだった。この受賞について彼は、「申しわけない気がする」という感想をもらしている。

「自分は人のために描いているわけではないし、子どものために描いているつもりもない。みんな自分のためにしていることなのに、こんな賞をもらっては申しわけない」と言うのである。

安野光雅を国際アンデルセン賞に推薦したのは、日本児童図書評議会（JBBY）。ここの事務局をつとめた板東悠美子さんは、「この四年前に画家の赤羽末吉氏がアンデルセン賞を受賞しているので、続けて安野さんが受賞したことは、日本の児童文学界にとって快挙でした」と語る。最初、IBBYでは、「ANNO」という名前が日本人だとは思わなかったようだ。

島根県津和野町に生まれた安野光雅は、山口師範学校研究科を終了した後、一〇年近く小学校の教師をしていた。偶然のことから、児童図書の出版社・福音館書店の松居直から絵本を描いてみないかと誘われた。

「言葉のある物語は描けない」と答えると、松居は「言葉や文字は、なくてもいいじゃないか」と言った。

「この言葉には驚いた。松居さんのすごいところだな」と安野光雅は当時を回想する。こうした誘いによって、好きなように描いたのが『ふしぎなえ』だった。ここには彼が傾倒していたオランダの画家・エッシャーの影響が見られるが、ユーモアに満ちた不思議な絵は、安野光雅独自のほのぼのとした味わいがあり、子どもたちだけでなく、おとなの間にも新鮮な驚きを与えた。

現在二六刷りになるロングセラー『ABCの本』（昭和四九年）は、木片でアルファベット二六文字を作るという安野光雅のアイディアがもとになった。海外の編集者たちの意見を聞いて、文化の違いによる、言葉と画像との違いを調整し、三年がかりで本になった。同時に刊行された海外版は、アメリカのブルックリン美術館賞、最も美しい五〇冊の本賞、イギリスのケイト・グリナウェイ賞特別賞など英・米の八つの賞を得た。

「当時、安野さんは一日に二、三時間しか寝てなかったのではないか。夜中にフォルクスワーゲンを走らせて、絵ができたぞと言って見せに来てくれたこともありました」

と、福音館書店の土田範彦さんは懐かしそうに語る。

「安野さんは、編集側が注文を出すと一所懸命考えてくれる人でした。装丁・造本についても、話し合ううちに、凝りに凝った本になってしまいました。当時の児童書の値段は、八〇〇円くらいが普通でしたが、『ABCの本』は一五〇〇円になり、ひんしゅくをかったものです」と土田さん。初版でせいぜい四、五千部も出てくれれば、という思いだったのだろう。

平成九年現在、安野光雅の著作は一五〇冊以上におよび、子どもからおとなまで、国内だけでなく、世界中にも多くのファンを持っている。最近では司馬遼太郎が亡くなるまでの五年間、「週刊朝日」に連載された「街道をゆく」の挿画を担当。平成八年には、講談社のPR誌「本」に七年間連載した表紙絵をまとめた『繪本平家物語』が出版され、ベストセラーとなった。

「子どもの頃から、とにかく絵を描くことが好きだった」と語る安野光雅は、少年時代から那須与一の扇の的、義経の八艘跳び、堀部安兵衛の高田馬場のシーンなどを夢中になって描いて遊んだ。だから『繪本平家物語』は、人が思うほどの苦労はなかったという。

彼の旺盛な好奇心と探究心は、とどまるところを知らず、『空想工房』『算私語録』などのエッセイ集も多く、いずれも好評を得ている。

▲『あいうえおの本』より。「日本の伝統的な形と言葉とを結びつけたかった」と安野光雅は言う。

沼田早苗

▲旅先でスケッチをする安野光雅。

▶『ABCの本』より。斬新な着想が、アルファベットを使う国々では特に注目された。

20世紀博物館

ノリタケ・ミュージアム 愛知・名古屋市

世界的ブランドの一世紀を見る高級陶磁器入門の館

桑原茂夫

▲オールド・ノリタケが五五〇点も並べられた、マニア垂涎の宝庫、ノリタケ・ミュージアム。

ノリタケ・ミュージアム提供(4点とも)

昭和五〇年代後半は国際化がキーワードだった時代だが、昔から海外を主要市場として事業展開をはかってきた企業も少なくない。陶磁器を製造・販売するノリタケカンパニーリミテドも、そのひとつだ。すでに明治三七年には、輸出用洋食器の製造を中心にした、日本陶器合名会社が設立されており、ノリタケカンパニーリミテドはここから始まっている。

このノリタケ・ミュージアムには、同社の創業期から昭和初期あたりまでに製造され、海外で評判をとった、いわゆる〝オールド・ノリタケ〟が五五〇点ほど、ずらりと並べられている。陶磁器の愛好家やコレクターにとっては、まさに〝宝庫〟となっているのである。

創業期に作られた豪華な花瓶の数々や、「アザリア」というニックネームを持つ手描きデザインの食器シリーズ、大正末期から昭和初期にかけてさかんに輸出された、アール・デコ調の「ノリタケ・アール・デコ」コレクションなどが展示されているが、これらは今なお、その価値を保っている。ひとつひとつのものを丁寧に作り上げた、無名の職人たちの高度な技が、時の流れにもかかわらずその価値を保っているのである。

▲大正末期から昭和初期にかけて流行した、アール・デコ調の〝ノリタケ・アール・デコ〟の皿。装飾品としての要素が強い。

▲裏印から明治24〜44年に作られたことがわかる花瓶。もちろん手描きのデザインで、ひときわ豪華である。

展示されているのは輸出品だけではない。大正三年に日本で最初に作られたディナーセットや、建築家のライトがみずからデザインした、創業期の帝国ホテルの食器、ノリタケが作った日本初のボーンチャイナの食器など、目を引きつけられるものばかりだ。そういう食器の間に、ベーブ・ルースのサインの入った皿が飾ってある。米大リーグのスターたちが初めて来日した昭和九年、あの二〇世紀を代表するホームラン王が社を訪れ、サインしていったもの。アメリカではそれほど有名ブランドだったわけだ。

ところで有名ブランドというと、その商標には、商品価値を左右するほど大きな意味が付与される。陶磁器の場合は、その底につけられる〝裏印〟が商標になっており、そこには、さまざまなストーリーが隠されている。一番初めに日本陶器合名会社が登録した国内用の裏印に、「NORITAKE」という文字がはっきり記されている。これは実のところ、会社の所在地が、愛知県愛知郡鷹羽村大字則武字向五一〇番地(現・名古屋市西区)であったことからつけられた、ブランド名だったのである。また海外向け裏印には、これから出合うであろう困難の〝困〟の字をデザインしたマークがつけられたという。

なおこのノリタケ・ミュージアムは、高級白色磁器「ノリタケ・ダイヤモンドコレクション」を製造する工場、ノリタケクラフトセンターの四階にある。工場見学を経てから、ミュージアムに入り、そのあと五階に上がって、現代の高級陶磁器で演出された〝テーブルトップギャラリー〟を見ることになる。まさに高級陶磁器入門の館なのである。

●ノリタケ・ミュージアム
名古屋市西区則武新町三—一—三六
☎〇五二—五六一—七一一四
名古屋市営地下鉄亀島駅下車、徒歩三分
見学時間=一〇時と一三時
(申し込みはノリタケカンパニー広報課)
休館日=土、日曜日、祝日、年末年始
入館料=無料

▲同じクラフトセンター内のすぐ上の階にある、現代の高級陶磁器を集めた〝テーブルトップギャラリー〟。

「観客は子どもとマニアだけ」の常識を破った〝宮崎駿アニメ〟の記念碑

大ヒット「風の谷のナウシカ」からのメッセージ

▲「風の谷のナウシカ」より。動植物を愛する王女ナウシカは、風に乗って小型飛行機を操る、りりしい戦士でもある。 ©二馬力/徳間書店/博報堂(2点とも)

人類の最終戦争後の地球を舞台に、りりしい美少女・ナウシカが活躍するアニメーション映画「風の谷のナウシカ」は、劇場公開と同時に異例の大ヒットとなった。一方、原作マンガはその後も続き、映画とは異なるストーリーを展開、違った結末を迎える。そこに示された原作者・宮崎駿の思いとは?

今日的なテーマで幅広い支持を獲得

まさにアニメ映画史上に残るラストシーンだった。人間への憎悪に燃えた巨大な昆虫「王蟲(オーム)」の群れに身を投げ出し、その怒りをおさめて「風の谷」を救う美少女・ナウシカ。彼女の姿に観客は画面にクギ付けとなり、幕が降りるやいなや、映画館内には万雷(ばんらい)の拍手が沸(わ)き起こったのである。

昭和五九年三月、東映系で全国公開された劇場用アニメ映画「風の谷のナウシカ」(以下「ナウシカ」)は、そのストーリーや作画の質の高さから、「アニメとは子どもやマニアが見るもの」という従来の常識を打破し、幅広い年齢層に支持された。

▶「ナウシカ」のポスター。アニメの枠を超え、第一級の映画作品として高い評価を得た。

原作・脚本・監督は、宮崎駿（四三）。それまでにテレビアニメ「未来少年コナン」（昭和五三年）や劇場用アニメ「ルパン三世　カリオストロの城」（五四年）などの作品で、知る人ぞ知るアニメ作家だった。だが、この「ナウシカ」で一躍、誰もが知る存在となったのである。

物語の舞台は、人類の最終戦争が終わってから一〇〇〇年後の荒廃した地球。生きのびた人類たちは、地表をおおっている「腐海」と呼ばれる有毒な瘴気を吐き出す原生林と、王蟲におびえながら暮らしている。風の谷の王女・ナウシカは、自然を愛し、虫とも心をかよわせる心優しい少女だが、ある時、他国の軍隊に谷が攻撃を受け、戦乱に巻きこまれる。そ

▲「ナウシカ」が大ヒットした頃の宮崎駿。昭和16年生まれ。東映動画などを経て、57年フリー。その間、「アルプスの少女ハイジ」などを手がける。

◀スタッフと動画の背景を検討する宮崎駿。〝宮崎アニメ〟の動画は、1作品2万枚以上にもなる。その一枚、一枚すべてに目を通す。

毎日新聞社

してナウシカは、風の谷と自然を守るために立ち上がるのだ。

作品のテーマは〝自然と人間とのかかわり〟である。人間たちがおそれ、抹殺しようとした有害な「腐海」が、実は地上の汚染物質を取りこみ、再び清浄な状態に戻す自然の装置であり、巨大な虫たちはそれを守る役割を持っていたのだと主人公が気づく設定は、機械文明や自然破壊に対する痛烈な警鐘と言える。

こうした今日的なメッセージ、そして魅力的なキャラクターと躍動感あふれる画面が、アニメファン以外の心をもつかむ要因となり、「ナウシカ」はロングヒットとなった。配給収入七億四二〇〇万円を記録し、その年の「キネマ旬報」のベストテンで七位にランクイン、読者選出部門では、みごとトップを獲得した。

まさに「ナウシカ」は、〝宮崎アニメ〟の名を確立した記念碑的作品となった。

「私にとって映画はあくまで〝駄菓子〟」

しかし宮崎自身は、「ナウシカ」映画化の企画が最初にもちあがった時、かなり悩んだという。というのも原作マンガは、宮崎が「映画にできないものを描こう」と描き始めた作品だったからだ。

マンガ「風の谷のナウシカ」は、昭和五七年からアニメ誌「月刊アニメージュ」で連載が始まった。その壮大なストーリーと絵の密度の濃さは関係者を驚嘆させた。そして、人気が定着した連載三年目に映画化されたのだが、宮崎の中で「ナウシカ」はけっして終わってはいなかった。映画公開終了後もマンガの連載は続き、映画のストーリーをはるかに超える大きな物語へと展開していったのだ。

一方「ナウシカ」以降、次々と世に送り出された〝宮崎アニメ〟は、ことごとくヒット作となった。昭和六一年の「天空の城ラピュタ」の配給収入は五億八三〇〇万円、六三年「となりのトトロ」は五億八八〇〇万円（併映「火垂るの墓」を含む）、平成元年「魔女の宅急便」は二一億七〇〇〇万円、平成四年「紅の豚」は二七億一三〇〇万円を記録。そして、これらの映画製作のたびに連載を長期中断しながらも、宮崎はマンガ「ナウシカ」に執着を示していた。大長編にピリオドを打ったのは、連載開始から一二年後の平成六年のこと。結果的に映画版とマンガ版の「ナウシカ」はかなり違った作品となった。映画版は世界の再生と希望を暗示するハッピーエンドだったが、マンガ版はそう単純な結末ではなかった。再生への希望と滅亡の予感が混沌とする中で、ナウシカは「生きねば……」とだけ言って終幕を迎えた。

「一二年間に世界は変わり、私の考えも変わった。最初は終末観が強かった。人類の機械文明の滅亡は必至だと思っていた。だが、九〇年代になって振り返ると、八〇年代の終末観すら甘すぎだった」（朝日新聞」平成六年二月二四日）と宮崎は語る。「状況は時とともに悪化している」と言う彼の世界観は、平成九年に劇場公開され、日本の配収記録を塗り替えた大ヒット作「もののけ姫」にも通じている。そして、宮崎はこうも語っている。

「メッセージを大上段に振りかざすつもりはない。私はお菓子を作り駄菓子屋に卸していくような感覚でいます。ただ、そのお菓子はおいしくなければいけないし、ほかより売れないのでは困る。駄菓子だからといって有毒色素や保存料をまぜてもいいとは思わない。コストが高くなってもきちんとしたものを作る。ただし、映画はあくまで駄菓子であって、栄養はほかの食事できちんととってほしい。そういう意味で、基本的には自分たちが特別なことをやっているとは思い上がらないようにしている。今生きている世界で、何が大事で、何が間違いかということはきちんと踏まえようと心がけています」（『宣伝会議』平成七年一二月号）

地球環境の破壊を前に、宮崎アニメの警鐘はどこまで届いているのだろうか。

▶「天空の城ラピュタ」より。昭和六一年「ぴあテン」第一位を獲得。

▶「となりのトトロ」より。日本映画大賞受賞は、アニメ作品初の快挙。

©二馬力／徳間書店（左とも）

フォト＋日録で再現する366日

朝日新聞社

◀40年ぶり海底から遺骨引揚げ(7月5日)厚生省援護局により、太平洋戦争末期に米軍の大空襲を受けてトラック環礁付近で沈んだ旧日本軍徴用船の捜索が開始された。写真はそのひとつ「花川丸」から遺骨を収集するダイバーたち。

共同通信社

▲リッカーミシン倒産(7月23日)負債総額1100億円は、2月の大沢商会に次ぐ規模。昭和14年創業、昭和40年頃には国内シェア45パーセントを占める最大手だったが、ミシンが伸び悩み多角経営にも失敗した。

共同通信社

◀4年連続の不作に「減反」「外米輸入」反対(7月24日)政府買い入れ価格を審議する米価審議会当日、東京・飯田橋の農水省分庁舎前に約3000人の農民たちが詰めかけ、食糧政策を批判した。

▼ヘリコプター同士が空中衝突し、墜落(7月31日)明石市の上空で、強盗事件取材中の朝日放送チャーター機(左)に毎日新聞社機が接触。3人が死に4人が負傷した。住宅密集地に落ちた、すわ大惨事の事故だった。

黒田正治／共同通信社

▼松山事件、再審無罪(7月11日)昭和30年に宮城県松山町で起きた一家4人惨殺事件の死刑囚に、仙台地裁が逆転判決。写真は、29年ぶりに釈放の斎藤幸夫氏(53)と母親。

▶カール・ルイス、ロス五輪で4冠(7月28日)16日間にわたるロス五輪が開幕。ルイスは8月4日の100メートル(写真)のほか、200、400リレー、走り幅跳びで金メダル。

朝日新聞社

朝日新聞社

昭和59年7月

1(日)●総務庁、発足。初代長官に後藤田正晴。
2(月)●韓国キリスト教教会協議会、日本の指紋押捺制度撤廃要求の「百万人署名運動」行うと発表。
3(火)●ジャスコ、女性再雇用制度の新設を発表。
4(水)●外相、中国人・韓国人の現地読み採用を指示。
5(木)●神奈川県議会、神奈川非核兵器県宣言を可決。
●福岡高裁、初のカラオケ著作権訴訟でスナック経営者に音楽著作権使用料支払いを命令。
●ボクシングWBAチャンピオンの渡辺二郎、WBCタイトルも獲得。WBAタイトル剥奪。
6(金)●韓国労働省が日本で働く韓国人ホステス全員を年内に帰国させる方針、と韓国紙報道。
7(土)●新潟の病院が日本初のエイズ症例を報告。
●スピルバーグの「インディ・ジョーンズ」封切。
8(日)●繊維倒産多発、五、六月は過去最高と新聞に。
9(月)●中国国防相来日し、初の日中防衛首脳会談。
10(火)●玉川学園高等部吹奏楽部、ウィーンの第一三回世界青少年音楽祭で優勝。
11(水)●仙台地裁、松山事件再審で斎藤幸夫に無罪。
●神奈川・大和市の女子高生が小包爆弾開封し重傷(12日愛知県の男子高生を逮捕)。
12(木)●国鉄、二〇工場中六工場の廃止・縮小を発表。
13(金)●ソ連、邦人商社員をスパイ容疑で追放と発表。
14(土)●滋賀県議会、景観守る全国初の風景条例可決。
15(日)●田中角栄関連八社の五億円申告もれを摘発。
16(月)●渡辺和博著『金魂巻』刊行(金、ビが流行)。
●航空自衛隊に戦闘機F15Jが初配備される。
17(火)●大阪興銀本店に短銃男籠城(18日逮捕)。
18(水)●電気事業連、核燃サイクル三施設を青森県六ケ所村に建設と決定。
19(木)●日豪牛肉交渉妥結。日本の輸入枠拡大で合意。
20(金)●パート減税法成立。九〇万円まで非課税に。
21(土)●松江市の山陰本線踏切で特急とトラック衝突。
22(日)●ワープロなどで八割が眼精疲労と総評調査。
23(月)●リッカー、倒産。戦後四番目の大型倒産。
24(火)●個人株主二六・八％に減少と全国証取協議会。
25(水)●山本安英、「夕鶴」一〇〇〇回上演を達成。
26(木)●米で人気の人形「キャベツ畑の子どもたち」が日本発売三ヵ月で一五万個実売、と新聞に。
27(金)●東海銀行、理系大卒者の定期採用方針を表明。
28(土)●ロサンゼルス五輪、開幕。ソ連など不参加。
29(日)●過半数の女性が子育て後に就職希望と都調査。
30(月)●コンピュータ関連犯罪が倍増と警察庁集計。
31(火)●明石市で強盗事件取材ヘリが衝突。七人死傷。

AP/WWP

▶139年ぶり英「フランクリン探検隊」の遺体発見(8月)1845年に北極に向かったまま消息を絶ち、1848年に全員死亡とされていた。発見された遺体は3体。写真は、遭難当時20歳の船員のもの。

共同通信社

◀ギリシャ文化科学相のメルクーリ来日(8月20日)日・ギ親善交流の外務省賓客として来日。1960年の映画「日曜はダメよ」で人気女優となり、1981年のパパンドレウ政権成立とともに現職についた。

▼猛暑の豊島園プール(8月19日)列島各地で30度を超し、東京地方では連続21日間の無降水日を記録。8月中旬の平均気温29.5度も観測以来最高で、プールは満員。

共同通信社

証言・あの日この日
岸田今日子(54)

12月24日(月) 〈飛行機は午前11時頃飛び立って、香港とバンコックに寄ってから12月24日の夜、かなりおそくデリーに着いた。／正確には判らないのだけれど、たぶん10時間ぐらい飛んだのではないかと思う〉(岸田今日子『外国遠足日記帖』)

この頃、藤原新也や椎名誠のインド旅行記の影響などもあって、インドへの旅がブームになっていた。その背景には日本人の関心が物質的なものから精神的なものに移りつつあるという社会的現実があった。女優の岸田今日子が〈インドに行くと人生観が変わるっていうわね。行ってみたくない？〉と電話で吉行和子に話すと、吉行からも〈行きたい、行きたい〉とはずんだ声の返事が返ってきた。さっそくインド旅行の準備が始まり、ようやくこの日、インドへ旅立ったのだ。 (山崎行太郎)

▼阪急・福本豊、1000盗塁達成(8月7日)大阪球場で行われた対南海戦の9回、二盗に成功、足かけ16年で前人未到の記録を樹立した。写真は、二塁ベース上で、記念のゴールデンベースを掲げる福本。

読売新聞社

読売新聞社

◀投資ジャーナル捜索(8月24日)中江滋樹(30)をオーナーに「会員になれば億万長者になれる」と無免許で株式を売買。約8000人から582億円もの金を集めていた。中江は昭和60年、詐欺容疑で逮捕された。

共同通信社

昭和59年8月

1(水)●信販大手と学生ベンチャー企業、共同出資で学生派遣会社ホロニックを設立。
2(木)●衆院に政治倫理審査会設置で与野党合意。
3(金)●東京江東区の食堂で醤油瓶への青酸混入発見。
4(土)●田中角栄系企業が長岡市の信濃川河川敷の砂利採取認可を申請と判明。
5(日)●NHK特集「核戦争後の地球」放映(〜6日)。
6(月)●放送大学、入試なしで一万人受け入れと決定。
7(火)●阪急の福本豊、初の一〇〇〇盗塁を達成。
8(水)●横浜市のスーパーでエレベーターのドアに主婦がはさまれ上昇、首の骨折り死亡。
9(木)●国立教育研、校内暴力に公立校の個性化提唱。
10(金)●専売公社、民営化。タバコ輸入も自由化。
●国鉄再建監理委員会、分割・民営化を初提言。
11(土)●山下泰裕、ロス五輪柔道で右足負傷押し優勝。
12(日)●日本軍によるシンガポール華僑虐殺の極秘報告書が米国立公文書館で発見される。
13(月)●国有林野事業赤字が五〇〇〇億円突破と発表。
14(火)●健康保険法改正公布。本人一〇割給付を廃止。
15(水)●「戦争への道を許さない女たちの連絡会」、渋谷駅前で九時間の反戦マラソン演説会開催。
16(木)●東京都、情報公開条例案発表。公安情報除外。
17(金)●長崎地裁大村支部で右翼が短銃で判事を監禁。
18(土)●米に麦をまぜ牛乳で炊いた「タケチャンマン・ライス」が給食などで好評、と新聞に。
19(日)●広島県労働金庫の元女性事務員、四億円不正引き出しで逮捕。
20(月)●NHK、韓国・北朝鮮の要人名を現地読みに。
21(火)●フィリピンのベニグノ・アキノ暗殺一周年で四五万人が反マルコスのデモ。
22(水)●南アで初の人種別議院選挙、実施。
23(木)●東京で熱帯夜連続二三日の新記録。
24(金)●中江滋樹の投資ジャーナルグループ、摘発。
25(土)●ウラン原料輸送の仏船、ベルギー沖で沈没。
26(日)●東京でアジア初の国際細胞生物学会議開幕。
27(月)●農水省、米の五年ぶりの豊作予測を発表。
●大津市で世界湖沼環境会議、開催。
28(火)●厚生省の水道水利き水大会でおいしい水は青森市・名古屋市、まずい水は東京都・大阪市。
29(水)●東京地裁、指紋押捺拒否の在日韓国人に有罪。
●宍道湖漁協、淡水化に反対し補償金返還決定。
30(木)●国債費が一一兆円で予算最大項目にと大蔵省。
31(金)●自動車運転免許所持者が五〇〇〇万人を突破。
●小牧市のゴミ焼却場公害訴訟で住民逆転敗訴。

日本雑誌協会代表撮影

▼フィルムセンター火災（9月3日）東京・京橋の東京国立近代美術館5階洋画フィルム保存庫から出火、名作421作品のうち330作品が焼失、無傷だったのは「巴里祭」など。原因は暑さによる自然発火だった。

共同通信社

▼連続殺人の元警官・広田雅晴逮捕（9月5日）前日、京都で巡査の短銃を奪って射殺、大阪でもサラ金強盗殺人を犯し73万円を奪って千葉に逃げていた。写真は京都へ護送中の新幹線で。

▲全斗煥大統領、来日（9月6日）韓国元首として史上初。写真は東京・赤坂の迎賓館で天皇と歴史的な握手をする大統領。天皇は晩餐会で「不幸な過去が存したことは誠に遺憾」と述べた。

共同通信社

毎日新聞社

▲オルガンを弾くロボット（9月12日）早大理工学部の加藤一郎教授らのグループが完成。「WABOT —2」と名づけられ、楽譜を読み両手両足で演奏。翌年のつくば科学万博に出品された。

読売新聞社

▲蔵前国技館、"千秋楽"（9月23日）昭和25年、2代目国技館として出発、「栃若」「柏鵬」時代を演出。秋場所終了後、ペンライトで「蛍の光」を合唱。翌年初場所から、両国の新国技館に。

▶阪急のブーマーが三冠王（9月30日）史上5人目、外国人では初めての栄冠だった。写真は東京・ホテルオークラの日本プロ野球50年祭（11月）で、セリーグ打点王の広島・衣笠と。

日刊スポーツ

昭和59年9月

1（土）●東海地震対策強化地域七都県で総合防災訓練。
2（日）●フィリピンに巨大台風。一〇〇〇人以上死亡。
3（月）●東京国立近代美術館フィルムセンターで火災。外国映画三三〇作品を焼失。
●残暑厳しく、八王子市では三九・四度を記録。
4（火）●元京都府警の広田雅晴、強奪短銃で連続殺人。
5（水）●後楽園、日本初のドーム球場の概要を発表。
●臨時教育審議会（臨教審）、第一回総会。
6（木）●韓国の全斗煥大統領、来日。
7（金）●昭島市の機械メーカーから高濃度六価クロムが多摩川に流出（8日取水停止）。
8（土）●日本野鳥の会、埋め立てで干上がった東京湾の汐入池に六〇〇〇トンの海水を汲み入れる。
9（日）●住宅売買紛争が年間約三万件と総務庁。
10（月）●松下電器、毛筆で似顔絵描くロボットを公開。
11（火）●一〇〇歳以上は過去最多一五六三人と厚生省。
12（水）●ASEAN、東南アジア非核化で原則合意。
●「かい人21面相」、森永製菓に脅迫状送付。
13（木）●南極のエレバス山、今世紀最大級の噴火。
14（金）●長野県西部地震。木曾御岳山で大規模土石流。
15（土）●昭和二年に米から寄贈の人形、横浜で初公開。
16（日）●自治体のワープロ台数が前年比五倍と自治省。
17（月）●小澤征爾ら故・斎藤秀雄の教え子たちがメモリアル・コンサート開く。
18（火）●トルコ人学者、「トルコ風呂」の呼称廃止を渡部厚相に要請（「ソープランド」に改称）。
●初の『離婚白書』。件数は約一八万件で最多。
19（水）●中核派、自民党本部に火炎放射ゲリラ。
20（木）●隠岐島沖で煙を出し漂流中のソ連潜水艦発見。
21（金）●大友克洋の劇画『AKIRA』刊行。
22（土）●イラク軍、イラン・ジャパン石油化学建設現場をミサイル爆撃。日本人数人も負傷。
23（日）●蔵前国技館での大相撲本場所興行、終了。
24（月）●受刑者製作の革製品や家具に「CAPIC」の商標をつけ、年商八〇億円目標と新聞に。
25（火）●三菱総研、人工知能の本格的開発計画を発表。
26（水）●筑波大病院、脳死者から膵臓・腎臓の移植手術行う（翌年担当教授が殺人罪で告発される）。
27（木）●中央薬事審、B型肝炎ワクチン製造を承認。
28（金）●東京の三鷹・武蔵野地区で電電公社開発のINS（高度情報通信システム）モデル実験開始。
●東京高裁、テレビゲームの映像に著作権承認。
29（土）●北朝鮮、豪雨被害の韓国に救援物資輸送開始。
30（日）●阪急のブーマー、外国人選手初の三冠王獲得。

AP／WWP

読売新聞社

ロイター／サンテレフォト

▲岡本綾子、全英女子オープン制覇（10月6日）英国のオーバン・ゴルフクラブで行われた最終日、2位に11打差をつけて優勝。これでアメリカ・ゴルフツアー賞金ランク10位。一躍トッププロの仲間入りをした。

◀インド首相のインディラ・ガンジー暗殺（10月31日）ニューデリーの官邸付近でシーク教徒の警備隊員に撃たれ、死去。66歳。写真は国葬の11月3日、父で初代首相のネルーの記念館に安置された遺体。

▶ブルートレイン脱線（10月19日）山陽本線西明石駅で、宮崎発東京行き寝台特急「富士」が分岐器で減速せずホームに衝突、乗客29人が重軽傷。飲酒運転が原因。

▼ＩＲＡ、サッチャー首相暗殺未遂（10月12日）未明、年次総会出席の保守党議員が宿泊中の英南部のホテルが爆発、議員ら4人が死亡した。首相は危機一髪の命拾い。

共同通信社

ユニフォト・プレス

▲サケ、多摩川に戻る（10月1日）狛江市の多摩川で、卵を宿した1尾を発見。「東京にサケを呼ぶ会」が4年前に放流した稚魚が、63センチにもなって故郷に戻ってきた。

朝日新聞社

▲銀座デパート戦争開幕（10月6日）東京・有楽町の朝日新聞社・日劇跡地の「有楽町マリオン」に、西武と阪急が開店。これで銀座は、半径300メートルに8つもの百貨店がひしめく大激戦地区になった。

昭和59年10月

1（月）●川崎市、誰でも請求可能な情報公開条例施行。
●春日市、自治体初の個人情報保護条例施行。
●西武ライオンズの田淵幸一、引退を表明。
2（火）●助成停滞で私大財政悪化と『全国私大白書』。
3（水）●東北新幹線建設騒音に対する四訴訟が和解。
4（木）●国鉄、所有地再評価で時価二〇兆円と報告。
5（金）●ほとんどの金融機関でマル優悪用と国税庁。
6（土）●岡本綾子、全英女子オープンゴルフで優勝。
●日劇跡地に有楽町マリオン開業。
7（日）●京阪神のスーパー五店で青酸入り菓子発見。
8（月）●国鉄黒石線の私鉄移管認可。初の単独民営化。
9（火）●四〇歳女性の体力は一七年前の二七歳とほぼ同等と文部省調査。
10（水）●厚生省、死亡率など初の「健康マップ」発表。
11（木）●目の不自由な人にもジョギング流行と新聞に。
12（金）●IRA、英でホテル爆破。閣僚ら三六人死傷。
●森永製菓、減産に入り四五〇人を自宅待機。
13（土）●ソ連、長距離巡航ミサイルの配備開始と発表。
14（日）●全国の弁護士らが「患者の権利宣言」を発表。
15（月）●通産省、横浜・長岡などをニューメディア・コミュニティー構想モデル地域に指定。
16（火）●東急、東京・渋谷に「東急文化村」建設と発表。
17（水）●日立製作所、移動型知能ロボット開発と発表。
18（木）●ダイハツ、中国・天津市で生産開始と発表。
19（金）●東京高裁、衆院定数格差は違憲と判決。
●山陽本線西明石駅で飲酒運転により寝台特急「富士」がホームに衝突、脱線。二九人重軽傷。
20（土）●既婚女性中で就業者が初めて過半数と労働省。
●中国共産党、価格決定への市場制度導入決定。
21（日）●富士スピードウェイのレースで競走車が壁に激突し観客ら七人が重軽傷。
22（月）●厚木基地周辺住民、夜間飛行差し止め提訴。
●広島、日本シリーズで阪急破り三度目の優勝。
23（火）●ビデオ著作権保護・監視機構、設立。
24（水）●大阪府警、福祉活動家よそおい三〇万人から四億円を詐取した男を詐欺容疑で逮捕。
25（木）●長信など、サラ金プロミスへの緊急融資決定。
26（金）●文化財保護審、兼六園を特別名勝になど答申。
27（土）●静岡県警、フィリピン人女性を入国させキャバレーなどに斡旋していた元暴力団員逮捕。
28（日）●自民党首脳会談、中曽根再選で合意。
29（月）●通産省、柏崎原発増設公聴会の中止を通知。
30（火）●上期の経常収支黒字が過去最高と大蔵省発表。
31（水）●インドのインディラ・ガンジー首相、暗殺。

共同通信社

▲**プルトニウム厳戒輸送（11月15日）**使用済み核燃料をフランスで再処理した290キロが東京港着。未明、極秘裏に大型トレーラー6台に載せられ、茨城県東海村に搬送された。高速増殖実験炉「常陽」の燃料用だった。

毎日新聞社

▼**捕鯨に抗議（11月19日）**環境保護団体グリーンピースが、日本の捕鯨継続に合意した日米両国政府に怒り。コペンハーゲンの人魚像の心臓を、モリが貫いているように細工した。

POLFOTO／ロイター／サンテレフォト

ロイター／サンテレフォト

▲**レーガン、米大統領再選（11月6日）**50州中49州を制し、民主党候補のモンデール元副大統領に圧勝。「強い米国」を志向する73歳の老政治家が、テレビを通して受け入れられた。膝元ロサンゼルスで、ナンシー夫人と勝利宣言。

▶**新札登場（11月1日）**文化人の肖像でイメージチェンジした新札3種を一度に発行。一万円札が福沢諭吉、五千円札が新渡戸稲造、千円札が夏目漱石。初の点字マーク入りとニセ札防止の最新技術に特徴があった。

共同通信社

▲**ケーブル火災で通信網マヒ（11月16日）**東京・世田谷の地下溝内で100本が燃え、一帯の8万9000回線の電話が不通、銀行オンラインも停止した。完全復旧は24日以降だった。

▶**シンボリルドルフ、初の4歳馬の4冠達成（12月23日）**千葉県中山競馬場で行われたＧⅠ有馬記念を、皐月賞、日本ダービー、菊花賞の三冠に続いて制覇。騎手は岡部幸雄。

共同通信社

昭和59年11月

1（木）●一五年ぶり新札発行。千円札に夏目漱石、五千円札に新渡戸稲造、一万円札に福沢諭吉。

2（金）●医師需給検討委、新規参入一〇％削減を提案。

3（土）●新宿で風船揚げ三八万四八〇〇個の世界記録。

4（日）●女性向け月刊漫画誌が創刊ラッシュと新聞に。

5（月）●ニカラグア大統領選でサンディニスタ民族解放戦線のオルテガ議長当選。

6（火）●レーガン、米大統領に再選。

7（水）●富士銀行、ニューヨーク支店の為替投機失敗で一一五億円損失と発表。

8（木）●原発は火力よりコスト高と資源エネ庁調査。

9（金）●写真週刊誌「フライデー」（講談社）創刊。
●日米捕鯨協議、一九八八年までに日本のマッコウクジラ捕獲廃止で合意。

10（土）●ソニー、小型CDプレーヤーD50を発売。

11（日）●逗子市長選に米軍住宅反対の富野暉一郎当選。
●世界女子柔道で山口香が日本初の金メダル。

12（月）●公取委、石油販売四グループ八社の提携了承。

13（火）●新型宝籤「ラッキーセブン」全国で発売。

14（水）●滋賀県警、グリコ・森永事件で名神高速の金銭授受現場に現れた不審人物を取り逃がす。
●臨教審、学校制度の自由化などを提唱。

15（木）●核燃料のプルトニウム積載船、仏から東京着。
●趙治勲、囲碁名人戦で五連覇達成。

16（金）●東京世田谷区で地下通信ケーブル火災。八万九〇〇〇回線が不通となる。

17（土）●伊丹十三の初監督作品「お葬式」封切。

18（日）●三世代同居の老人は満足度高いと総務庁調査。

19（月）●社会党員で初めて山本幸一元書記長ら訪韓。

20（火）●劇作家の木下順二、日本芸術院会員を辞退。
●多摩動物公園、豪からのコアラ二頭を初公開。

21（水）●中曽根首相、日米共同作戦計画案を了承。

22（木）●日産ディーゼル、国産初の二階建てバス発売。

23（金）●板門店でソ連人亡命めぐり国連軍と北朝鮮軍が銃撃戦。

24（土）●農水省岩手種畜牧場、分割受精卵を別々の乳牛に移植し一卵性双子牛の出産に成功。

25（日）●公務員給与は地方が五・九％高いと自治省。

26（月）●東大生の二四％が授業理解できずと調査判明。

27（火）●置き石・爆破予告の鉄道マニア大学生、逮捕。

28（水）●運輸省、メタノール燃料車の走行試験実施。

29（木）●中国残留孤児を未帰還の日本人に認定と決定。

30（金）●マツダ、小型車の米国内生産を決定。
●電電公社、キャプテン・サービスを開始。

▶**三笠宮憲仁親王（29）結婚（12月6日）**東邦物産専務の長女、鳥取久子さん（31）と皇居内の賢所で、古式ゆかしい式典を挙行。憲仁親王は結婚にともない、昭和39年の常陸宮家以来の高円宮家を創立した。

朝日新聞社

◀**都はるみ引退（12月31日）**3月5日に記者会見で「普通のおばさんになりたい」と、この年限りの引退を表明。36歳ながら演歌一筋20年、熱烈なファンが多かった。写真はNHK紅白歌合戦でのはるみ。平成2年の美空ひばりの死後、復帰。

朝日新聞社

▼**南アフリカの黒人指導者ツツ主教（左）にノーベル平和賞（12月10日）**同国のアパルトヘイト（人種隔離政策）に対する非暴力の反対運動が評価された。この受賞は少数白人政権に圧力をかけ、黒人に励みを与えた。写真はオスロでの授賞式。

▶**新鋭・中山竹通（24）が初優勝（12月2日）**第19回福岡国際マラソンで36キロあたりから独走し、2時間10分0秒の好記録を出し、1着で平和台陸上競技場のテープを切った。マラソン3度目だった。

朝日新聞社

PANA通信社

▼**旧六郷橋の橋桁落下（12月14日）**新橋建設後、東京都大田区の多摩川に架かる旧橋を撤去中、一部が崩れ、作業員が下敷き。死者5人、重軽傷者13人を出した。支持仮橋の強度不足が原因。

AP/WWP

◀**英・中、香港返還合意文書に調印（12月19日）**阿片戦争後の南京条約（1842年）以来、英に割譲されていた香港の返還交渉がサッチャー首相になって始まっていた。この日、趙紫陽首相と北京でサイン。これによって1997年7月1日、香港は中国に返還されることとなった。

共同通信社

昭和59年12月

1（土）●農水省、減反拒否の秋田県大潟村農民七三人から農地買い戻しと表明。

2（日）●米映画「ゴースト・バスターズ」封切。
●インドのボーパールで米企業工場から猛毒ガスが流出。二六〇〇人以上死亡、一〇万人被害。

3（月）●労働省、黄金週間の連休普及促進要綱を発表。

4（火）●新潟鉄道管理局、首都圏からの客に芸者による送迎・接待つきのキャンペーンを開始。

5（水）●日米鉄鋼交渉、日本の米市場での占有率を、五・八％に自主規制することで合意。

6（木）●三笠宮憲仁、鳥取久子と結婚。高円宮家創立。

7（金）●東京の地下鉄飯田橋駅エスカレーターで小学生ら将棋倒し。二八人重軽傷。

8（土）●脳死実態調査発表。半年で一二九例報告。

9（日）●日弁連、外国人弁護士の国内活動を条件つきで解禁する試案を発表。

10（月）●米原子力空母「カールビンソン」、横須賀入港。

11（火）●アフリカに毛布を送る国民運動展開と外務省。

12（水）●最高裁、ポルノなどの税関検査は合憲と判決。

13（木）●最高裁、公営住宅の居住権も民間並みと判断。

14（金）●高松高裁、伊方原発設置許可取消請求を棄却。

15（土）●バンコクで日本製品不買を訴える学生デモ。
●水産庁が企画した本『ザ・サカナ』が完成。

16（日）●養殖用に輸入されたジャンボタニシが水田で繁殖し稲に被害が出始めている、と新聞に。

17（月）●大韓機撃墜事件の日本人遺族、賠償請求提訴。

18（火）●平和問題研究会、防衛費一％枠撤廃を提言。

19（水）●英・中、一九九七年の香港返還協定に調印。

20（木）●電電公社改革三法案、成立（25日公布）。

21（金）●群馬県下仁田町で上信電鉄線の上下列車が衝突。運転士一人死亡、一二四人重軽傷。

22（土）●六三％の家庭がカロリー過剰と国民栄養調査。

23（日）●シンボリルドルフ、有馬記念制覇（史上四頭目の三冠馬が、四歳馬初の年間四冠馬となる）。

24（月）●「日本読書新聞」、この日付号で休刊。

25（火）●大阪地裁、プロレスごっこで友人を失明させた中学生に二四〇〇万円の賠償を命ずる判決。

26（水）●長野県が在日韓国人の教員採用を、文部省の指導で取り消していたことが判明。

27（木）●千葉で死後四ヵ月の女性発見。資産一〇億円。

28（金）●校内暴力減り、いじめが問題化と警察庁発表。

29（土）●覚醒剤検挙増加は女が男の二・七倍と警察庁。

30（日）●指紋押捺拒否者は八二人と法務省まとめ。

31（月）●七九年ぶり出生数が一五〇万人割ると厚生省。

俄楽多市（がらくたいち）

流行語

始まった妻たちの反乱

「くれない族」。TBSのドラマ「くれない族の反乱」から出た流行語で、夫がかまってくれない、理解してくれない、子どもは言うことを聞いてくれないという妻の不満を表す。前年、親が何もやってくれない、先生がわかるように教えてくれないなど、何でも他人のせいにする若者に対する批判の意味で使われたが、この年は妻の言い分を正当化する形で流行した。

「パフォーマンス」。自分の感動を肉体や行為で素直に表現しようとすること。街頭での歌やダンス、寸劇などがパフォーマンスとして大流行、その後、日曜日の歩行者天国などで定着した。

「イッキ飲み」。学生たちがコンパやチューハイなどを一気に飲み干すこと。その間、仲間たちは「イッキ、イッキ」とはやし立てる。ただし急性アルコール中毒で救急車の世話になるケースも多く、死亡した例もある。

「シンミツ」。いわゆる〝ギャル語〟のひとつで、その日に知り合った男性と性的関係を持つこと。もともとディスコで外国人と知り合った女の子が、性的関係を結ぶことを言ったが、次第に使われる幅が広がった。

◀三菱ミラージュのCMに登場し、エリマキトカゲ・ブームが起こる。5月の「東京おもちゃショー」で。

読売新聞社

CM100年

テレビCF

「私はこれで会社をやめました――禁煙パイポ」（アルマン）

▲サラリーマン風の男が小指を立て、女性のことが原因でという衝撃的なオチが受けた。

ファッション

マネキン界の革命 普通の〝日本女性〟タイプ

戦後、日本のマネキンは腰高で、頭部から爪先まで一七五㌢を標準として作られていた。アメリカ女性のように踵（かかと）の高い靴を履（は）いていることがカッコいいとされていた影響である。ごくありふれた体型の、踵を地につけたマネキンが初めて製作されたのは昭和五九年一月である。日本女性を恋人にしたオランダ人の人形師が、マネキンと現実のあまりのギャップに驚き、ハレぼったい目、低い鼻の、普通の日本女性のようなマネキンを作った。日本のマネキンが変わったのはこれ以後のことだった。

（大江原豊『ショーウインドーの裏から』）

▲鳥山明作「DRAGON BALL」が「少年ジャンプ」で連載開始。すべてを集めると願いがかなうという7つの「ドラゴンボール」を求め、孫悟空が大暴れする冒険漫画。

文化

小学生が発見した日本初の肉食恐竜の化石

五年前、熊本市の小学生・早田（わさだ）展生君（一一）が発見した恐竜の歯の化石が、日本初の肉食恐竜の化石であることがわかった。早田君はこの化石を御船町（みふねまち）の崖で見つけた。長さ七・五㌢、最大幅二・二㌢、厚さ一・二㌢で鋭くとがっている。教師であるお父さんが古生物の専門家である横浜国大の長谷川善和教授に鑑定を依頼したところ、日本初の肉食恐竜の歯で、体高は推定で九㍍くらいのものであることが明らかになった。

（「熊本日日新聞」一月二〇日）

データ

トップはマクドナルド 外食産業の売り上げ

外食産業は隆盛の一途で、売り上げもウナギのぼり。この年のトップを見ると（億以下四捨五入）、①日本マクドナルド＝一兆八〇億円、②すかいらーく＝八〇三億円、③小僧寿し＝六九二億円、④ほっかほっか亭＝六七〇億円、⑤ロイヤルホスト（洋食）＝六五九億円という順だった。

（土井利雄『外食』）

▶幅二・五メートルの合格祈願のジャンボ絵馬が東京・湯島天神に奉納された。

共同通信社

三面記事

昔も今も……ダメ親父

ある食品メーカーが全国の子どもから「お父さんの癖を教えて」という募集を行ったところ、一万五〇〇〇通以上が集まった。その中でケタ違いに多かったのがおなら。「おならをする時ピストルをかまえるかっこうをして『覚悟しろ』『ブスッ』と言います。面白いけどイヤになることもある」（一〇歳・女子）。娯楽はテレビというお父さんは多いが「テレビを見ている時はポカーンと放心状態で、話しかけても気がつかない」（一七歳・男子）という例や、「ドラマを見て俳優の台詞（せりふ）にいちいち返事をする」など、評価は今イチ。そのお父さんが一番気にしているのはオツム。「朝起きると枕カバーについた髪の毛を拾って数え、『まだ大丈夫や』と言います」（一九歳・男子）、中には、ねぼけマナコで髪を拾い集め、もう一度頭に植えようとするお父さんなど、その努力は痛々しいという。

（「朝日新聞」七月八日）

▲難民救済のため月1回、100円ラーメンを売る店が新宿3丁目に登場。

共同通信社

はやり歌

もしも明日が…

作詞 荒木とよひさ　作曲 三木たかし　編曲 佐藤準

もしも　あしたが晴れならば
愛する人よ　あの場所で
もしも　あしたが雨ならば
愛する人よ　そばにいて
今日の日よ　さようなら
夢で逢（あ）いましょう
そして　心の窓辺に
灯（あかり）ともしましょう
もしも　あしたが風ならば
愛する人よ　呼びにきて
もしも　季節が変わったら
愛する人よ　あの歌を
もしも　手紙を書いたなら
愛する人よ　逢いにきて
今日の日を　想い出に
そっと残しましょう
そして　心の垣根に
花を咲かせましょう
もしも　涙がこぼれたら
愛する人よ　なぐさめて

えとせとらレコード博物館提供

▲TV番組「欽どこ」が生んだヒット曲。かなえ、たまえの〝わらべ〟と見栄晴が歌った。

桃色吐息

作詞 康珍化　作曲 佐藤隆　編曲 奥慶一

咲かせて　咲かせて
桃色吐息（といき）
あなたに　抱かれて
こぼれる華（はな）になる
海の色にそまる
ギリシャのワイン
抱かれるたび　素肌
夕焼けになる
ふたりして夜に
こぎ出すけれど
だれも愛の国を
見たことがない
さびしいものは　あなたの言葉
異国のひびきに似て　不思議

ビクターエンターテインメント提供

▲高橋真梨子がペドロ&カプリシャスから独立、ソロシンガーとなって初めての大ヒット作。

JASRAC（出）許諾第9714328-701号

犯罪

三億円がパー！ 詐欺男の小さな失敗

〔松山発〕愛媛県今治（いまばり）市のガソリン・スタンド経営者（五四）が、三億二〇〇〇万円にのぼる保険金詐欺で捕まった。男は六年前、車のはねた石が左目にあたって失明したとして松山赤十字病院に入院。医者の治療や「見えるはずだ」という言葉にも「見えない、見えない」で押し通し、結局〝視力ゼロ〟の診断書をせしめた。さらに一ヵ月後、右目も見えなくなったとして町の医院に入院。ここの医者も不審を抱きつつ失明と診断。男はこれらの診断書を保険会社に提出して、数ヵ月前まんまと大金をせしめた。

まずったのはその後だ。彼が保険金肥りしたことは町中の評判で、そのため三人組の強盗に襲われ、現金五万円を奪われた。ところが男は我を忘れて、駆けつけた警官に強盗の人相をべらべらしゃべったのだった。

（「愛媛新聞」七月一四日）

◀六月二九日、江崎グリコ大阪本社前に月光仮面が現れ、株主総会前に、激励文を読み上げた。

時事通信社

風俗

女子大生の肝入りで誕生 早大のホモ同好会

みずから〝ホモ・サークル〟を名乗る同好会が早大に誕生した。名前は「ギムナジウム」と言い、最近、少女マンガではホモの美少年の集まるところの代名詞とされているもの。結成まもないため会員は八人と少なく、そのうち二人が女性。ホモのサークルに、なぜ女性かと言えば、そもそもの言い出しっぺが女性のSさん（文学部一年）だったから。Sさんによると「私、耽美（たんび）的少女マンガを描きたいので、そのヒントにと思って、それらしい雰囲気の級友に『ホモのサークルを作らない』って持ちかけたら賛同してくれたの……」

以来、友人の女性と〝おこげ族〟をやっている。会の当面の目標はホモの機関誌の発行と、ホモをテーマに早稲田祭に参加すること。女性たちは自分の部屋に男二人を泊めて、妖（あや）しい雰囲気を楽しみながら鑑賞しているという。

（「内外タイムズ」三月七日）

この年の初もの

ボケよけ地蔵 関西の二四寺に設置

●ワープロ喫茶 東京・西池袋にオープン。コーヒー代三〇〇円、ワープロ使用料（三〇分）一〇〇円。

●視覚障害者のための〝さわれる〟美術館 四月、東京・渋谷に開館。

●男性用口紅 小林コーセーから発売、一本八〇〇円。眉ずみ（八〇〇円）やファンデーション（一五〇〇円）もあり。

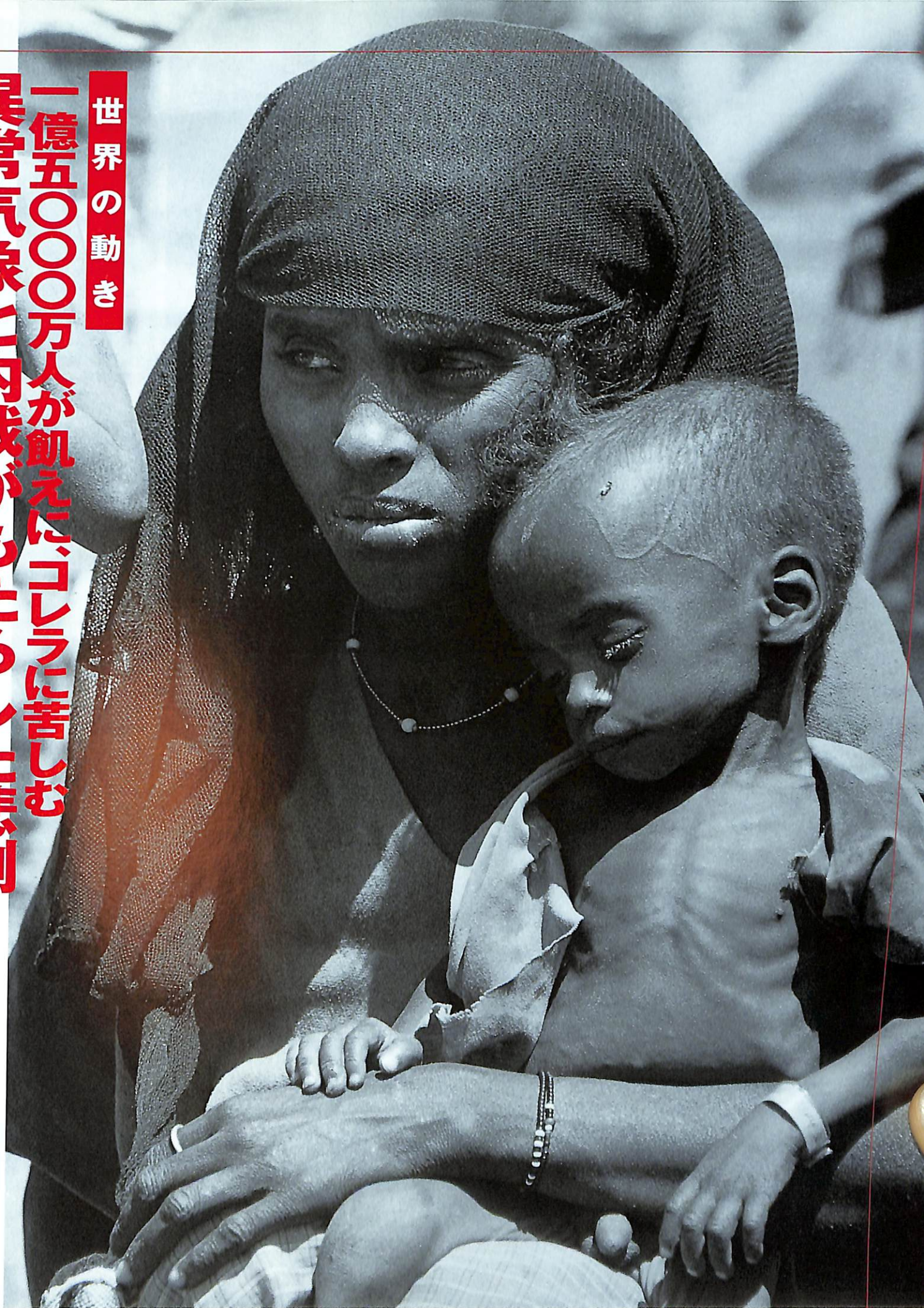
●挿入するだけの人工流産剤 五月に、厚生省が世界で初めて製造を認可。

▶醸造元が発売した浴用酒が一二月末までに四五万本を売るヒット商品になった。

千代菊提供

世界の動き

一億五〇〇〇万人が飢えに、コレラに苦しむ 異常気象と内戦がもたらした悲劇

「今世紀最悪」アフリカの飢餓！

▲エチオピア中北部、ウォロ州コレムの難民センターで、飢えで立ち上がる力もなく座りこんだ母と子。ハエを追う気力さえない。 ユニフォト・プレス

▼1984年6月、コレムの難民センターでは1万5000人もの人々が食糧を求めてさまよっていた。ここでも、子どもたちが次々に死んでいった。

共同通信社

一九八二年から八四年にかけ、アフリカ大陸は三年におよぶ旱魃で食糧不足が深刻化。とりわけエチオピアでは七七〇万人が飢餓状態におちいり、寒さから死者が続出した。この「今世紀最悪」の事態は、部族対立による内戦と国家の腐敗が引き起こした「人災」でもあった。

二〇〇〇万人もが餓死の危機に直面

「キャンプでは、嘔吐(おうと)や下痢などをともなうコレラが発生し、患者が次々訪れましたが、治療薬がなく、黙って、死んでいく人々を見守るしかありませんでした。一〇日間で三〇〇人以上が死亡し、一五〇〇人だった収容棟の人口が九〇〇人以下に減ったこともあります。あまりにひどい事態におそれをなし、ほかのキャンプに移動した人も多かったからです」

一九八四年八月から八五年三月にかけ、赤十字社の救護要員としてエチオピア北部のウォロ州などの三ヵ所のキャンプをまわり、治療を続けた、熊本赤十字病院の工藤（旧姓・府内）秀子さん（当時・三三歳）はこう語る。

一九八四年一月一九日、FAO（国連食糧農業機関）は、アフリカの総人口約四億五〇〇〇万人の三分の一にあたる約一億五〇〇〇万人が慢性的な栄養不足と飢えに苦しめられ、二〇〇〇万人が餓死の危機に瀕(ひん)しているとの、衝撃的な報告を発表した。

アフリカでは一九六八年以来、降雨量が全般的に減少し、一九八〇年までの一三年間で旱魃(かんばつ)の年が七年、降雨に恵まれた年が六年と、ほぼ隔年ごとに旱魃に襲われていた。しかし八二年からの旱魃は三年もの長期にわたり、食糧不足が一挙に深刻化したのである。

特に、エチオピアの状況はひどかった。一六州中一二州で約六四〇万人が旱魃の被害を受け、約一〇〇万トンの食糧援助がなければ、一九八五年初頭までに五〇〇万人が餓死すると報告されていた。

日本政府が、四次にわたる国際救急医療チームのエチオピア派遣を決めたのは一九八四年一二月六日。第一次チームの医師三人と看護婦ら八人のメンバーは一二月一〇日に日本を出発、ティグレイ州メケレ市の飢餓被災民収容所センターで医療活動に従事し、帰国後の翌八五年一月九日、外務省で報告会を開いた。

団長の鵜飼卓(うかいたかし)大阪府立千里救命センター副所長の報告は、悲惨なものだった。被災民救援キャンプには二万人が群がり、そのうちテントに収容されているのは七〇〇〇人。後の一万余人はボロ布をまとったきりで、地べたで暮らしていた。栄養状態は極度に悪く、大半の人はやせ衰えて、「生けるミイラ」のように皮下脂肪のまったくない人も目立っていた。

気象状況も惨状に追い打ちをかけていた。標高約一八〇〇メートルのキャンプ地の気温は、日中では三〇度を超えるが、夜は一〇度以下まで冷えこみ、一日で五五人もの死者が出ることもあった。しかも、その半数は子どもであった。

しかし、この大飢饉は異常気象だけがもたらしたものではなかったのである。

八四年末からエチオピア北部でその惨状をカメラにおさめた三留理男(みとめただお)氏は、「人災の側面は見逃せません。政府と解放勢力の内戦による混乱で救援物資が罹災(りさい)者の手元に届きにくかったことが、悲

ユニフォト・プレス

▲難民センターで食糧の配給を受ける子どもたち。エチオピア全土で、1日50人から100人の子どもが飢えて死んでいった。

外から見たNIPPON

タイの詩人、スラチャイ作詞のヒット曲「メイド・イン・ジャパン」

佐伯 修

高杉康史提供

▶「生きるための歌」でひとつの時代を作る。

「遠くに 近く／あっちに こっち／どっちを向いてもニッポンだらけさ／あの通りこの通り／どこもかしこもニッポンニッポン／テレビにラジオ 時計もニッポン／ああ ニッポン／ニッポンなしでは過ごせない（改連）ああ おれたちの暮らし／よくもこんなに何もないもんだ／田んぼは荒れて／家は草の切株同然／あるのは土埃りと日照り／乾いた風ばかり／高い商品はニッポン製品（改連）オーオー ジャパン／スーパーマーケット／す・べ・て／メイド・イン・ジャパン」（荘司和子訳）

フォーク・グループ「カラワン」（「キャラバン」の意）の唄うそんな歌が、ひと頃、タイ中に流れた。当時、まだ都市の一般市民の暮らしにも貧しさの目立ったタイには、日本製の商品が大量に出まわり、人々の消費熱をあおっていた。「スズキ、カワサキ、ホンダ、トヨタ……」などと、日本商品のメーカー名をちりばめながら唄われたこの歌の歌詞は、「カラワン」のメンバー、スラチャイ・ジャンティマトーンの作で、その名も「メイド・イン・ジャパン」。この年に出た同名の詩集におさめられた。

また、この年、スラチャイは、同じ「カラワン」のメンバー、モンコン・ウートックと来日し、北は秋田から南は沖縄まで、「農村漁村キャラバン」なるコンサート・ツアーを行っている。「沖縄の人たちは、皮膚の色、顔つき、身体つきから民族性のようなものまで、わたしたちタイ人とあまり変わらない」と、スラチャイは述べている。

それ以外にも、彼らは、東京でタイの著名な詩人、ナワラット・ポンパイブーンと会うかと思えば、夜の歓楽街で出稼ぎのタイ人ホステスにうどんをおごったり、群馬の温泉場でムエ・タイ（キック・ボクシング）のコーチをするタイの男性と、予期せぬリング上の「対戦」をしたり、とさまざまな〝日本の中のタイ〟に出会っている。

一九四八年、「イサーン（タイ東北部）」スリン生まれのスラチャイは、短篇作家としても知られ、一九七六年の軍事クーデター後は、一時「カラワン」のメンバーとともに左翼ゲリラに加わったこともある。フォークに、タイの伝統音楽を結合させた、独自のプロテスト・ソングを数多く生んだが、民謡調からロック調までこなす柔軟さを持つ。現在「カラワン」を解散し、ソロで演奏活動を続けている。

なお、タイが高度経済成長を経て、国産の消費社会を形成し、周辺諸国に経済進出もする今では、彼はもはや「メイド・イン・ジャパン」を唄わないことにしたという。

惨な状態に拍車をかけたのです」と語っている。

エチオピアでは、エリトリア解放戦線などのゲリラ活動が救援活動をさまたげていた。ゲリラを避けるため、世界中から届く救援物資は、飢餓地帯から遠く離れたアッサブ湾に陸揚げしなければならなかった。しかも、国内の道路は一日一二時間以上も封鎖され、対ゲリラ戦での武器を優先する政府は、救援資金を国庫に蓄えたり物資を横流しして換金するなど、その腐敗ぶりを露呈していた。

世界各地で救援活動空前のコンサートも

一九八四年八月、ユニセフ（国連児童基金）の親善大使としてタンザニアを訪問し、一週間にわたり飢餓の状況を視察したタレントの黒柳徹子は、新聞、テレビなどで救援を呼びかけた。

「アフリカの子どもたちを救って」という手紙とともに、黒柳のもとに送られてきたお金は九八五九万一一五二円。そのうち九〇〇〇万円が一一月三〇日、訪日中だったジェームズ・グランド・ユニセフ事務局長に手渡されるなど、日本国中で募金や毛布などの救援物資が集められ被災地に急送された。

海外でも、飢餓救援活動は活発化。八五年一月四日、デュラン・デュランなどイギリスの一流ポップ歌手らが共同で作ったレコード「ドゥ・ゼイ・ノウ・イッツ・クリスマス？（彼らは今日がクリスマスだと知っているか）」の売り上げが一八億円に達して話題を呼んだ。また七月一三日には、史上最大の慈善コンサートが、ロンドンのウェンブリー・スタジアムと大西洋をはさむアメリカ・ペンシルベニア州のジョン・F・ケネディ競技場で同時に行われ、救援資金は一六五億円にもおよんだのである。

しかし、その後もアフリカでは飢餓や難民の絶えることはなかった。特にスーダンをはじめ、ソマリア、エチオピア、アンゴラ、モザンビークなど、内戦が続く国々では深刻な食糧不足に見舞われ続け、国連難民高等弁務官事務所によれば、一九九二年一月時点で五〇〇万人以上の難民が不毛の大地をさまよっていた。

戦火は農業をも荒廃させる。人々が生きるために木を切り倒し燃料にすることで砂漠化も進行、政情不安と飢餓の悪循環が繰り返された。しかし、一九八九年、東西冷戦が終結すると、各国で民主化の動きも活発化し始める。世界銀行やIMF（国際通貨基金）などの支援を受け、アフリカは、ようやく飢餓からの解放への道を歩み始めている。

ユニフォト・プレス

▲1985年7月13日、アフリカ飢餓救援のために、史上最大の慈善ロックコンサート「ライブ・エイド」が英米で開催された。

往きて還らぬ

◀8月5日 リチャード・バートン(58)
英の俳優（中央右）。演技派として舞台・映画で活躍。エリザベス・テーラー（中央左）と結婚、離婚を繰り返した。

▲2月6日 三原脩(72)
日本のプロ野球選手第1号。後に巨人、西鉄、大洋などの監督をつとめ、その手腕から〝智将〟〝魔術師〟と呼ばれた。

▲12月7日 大川橋蔵(55)
映画俳優。東映の時代劇スターとして活躍。昭和41年から、テレビ映画「銭形平次」の主演を18年間つとめた。

▲8月30日 有吉佐和子(53)
小説家。昭和31年『地唄』でデビュー。社会問題を扱った『恍惚の人』『複合汚染』が、ベストセラーに。

▲8月9日 大河内一男(79)
経済学者で、社会政策理論を確立。東大総長時の「太った豚になるよりは痩せたソクラテスになれ」の名言で有名。

▲2月21日 M・A・ショーロホフ(78)
ソ連の小説家。『静かなドン』(4部作、1928～40年)で世界的な名声を確立。1965年ノーベル文学賞受賞。

▲12月11日 中西悟堂(89)
野鳥研究家で、昭和9年日本野鳥の会創設。戦後鳥獣保護法制定に尽力。歌集『唱名』、詩集『東京市』がある。

PANA通信社

▲10月21日 F・トリュフォー(52)
仏の映画監督。1959年「大人は判ってくれない」でヌーベル・バーグの旗手となる。ほかに「突然炎のごとく」など。

▲8月10日 野間省一(73)
出版人。昭和20年講談社社長に就任、戦後の出版界のリーダーとして活躍。50年ユネスコの第1回国際図書賞受賞。

▲4月6日 長谷川一夫(76)
映画俳優。〝世紀の二枚目スター〟。昭和10年「雪之丞変化」が大ヒット、ほかに「地獄門」など。死後国民栄誉賞受賞。

▲12月24日 美濃部亮吉(80)
経済学者、東京都知事。昭和42年革新知事として当選、3期連続12年つとめる。父は憲法学者・美濃部達吉。

▲11月26日 村野藤吾(93)
建築家。日本のモダニズム建築の第一人者。大阪の十合百貨店、千代田生命本社など設計、昭和42年文化勲章受章。

▲8月25日 T・カポーティ(59)
『ティファニーで朝食を』(1958年)で知られる米の小説家。現実の事件をモデルにした『冷血』(1966年)でも話題。

ミニ事典
1984年のキーワード

スキゾ／パラノ
ニューアカデミズムの旗手と言われた京大人文科学研究所助手・浅田彰が自著『逃走論』で紹介した人間類型。スキゾフレニー(分裂病)とパラノイア(偏執狂)の略。浅田によれば、スキゾ人間とはそのつど今に生き逃走と放浪を続ける遊牧民、パラノ人間は過去を背負い秩序を好む定住民。全員が一定方向に走り続けるパラノ型の資本主義的社会は陳腐化し、今やスキゾ型のアナーキーな消費社会に転じつつあるとする。

ロイター／サンテレフォト

▶浅田彰の著作は前年九月刊行の『構造と力』が半年で六万五〇〇〇部、『逃走論』も三月の発売後二週間で四万部。

たばこ事業法
日本専売公社を改組し、民営の日本たばこ産業株式会社を設立することを定めた法律。四月三日閣議決定、八月一〇日公布、昭和六〇年四月一日施行。これで明治三七年以来続けてきたタバコ専売制が廃止された。ただし、葉タバコの全量買い入れ制度、小売店の許可基準などは前例を踏襲した。

国籍法改正
従来の国籍法では、出生の際、日本国籍を得るには父親が日本人でなければならなかったが、両親のいずれかが日本人であればよいと改められた。五月二五日公布、昭和六〇年一月一日施行。国際結婚の増加や男女平等意識の高まりから改正が急がれていた。これにともなって戸籍法も改正され、外国人の夫や父母の姓でも日本国籍が作れるようになった。

トマホーク
飛行にジェット・エンジンを使用し、翼を持つ巡航ミサイルのひとつ。直径五三センチの円筒形で翼は胴体内に折りこめる。米ゼネラル・ダイナミックス社製。対艦攻撃型と対地攻撃型があり、核弾頭が装着できる。そのため、トマホーク配備可能の米原潜「タニー」日本寄港のニュースが伝わると、五月二七日、横須賀・佐世保などで「配備反対集会」が開かれ、約一〇万人が参加した。

▲潜水艦の魚雷発射管から水中発射するというユニークな着眼で開発、200キロトンの核弾頭搭載可能な戦略型もできる。

遺伝子資源
特に育種対象となる優れた特性を持つ動植物の遺伝子のこと。科学技術庁長官の諮問機関、資源調査会が欧米に比べて日本は、その収集・保存・管理が遅れているとして、六月二六日、食糧戦略の観点から動植物・微生物などの遺伝子資源の確保を急ぐように答申した。バイオテクノロジー技術の進歩で作物の品種改良が飛躍的に向上したが、その前提には、種子など遺伝子資源の確保が不可欠だった。

臨時教育審議会(臨教審)
六・三・三・四制の見直しなどを柱に教育改革を推進しようとした中曽根康弘首相の諮問機関。「戦後政治の総決算」をめざす首相が二月一日、森喜朗文相との会談で仮称、臨時制度調査会(教育臨調)として設置することに決定。八月二一日、前京大学長・岡本道雄を会長に、作家・曽野綾子ら二五人を委員に発足。昭和六二年まで会議を繰り返したが、首相の思惑が先行、実効のある提案はなされなかった。

共同通信社

▶九月五日、臨教審初会合に出席した(左から)曽野綾子、木村治美らの委員。

『離婚白書』
厚生省が離婚の実態を分析してまとめた「人口動態統計特殊報告」の通称。九月一八日発表。それによると離婚件数は昭和四三年から一貫してふえ続け、前年は過去最高の一七万九一五〇件、一六年連続最多記録を更新した。人口一〇〇〇人当たりの離婚率は一・五一組。都道府県別では北海道が最も多く、東北など夫が出稼ぎに出る地域で離婚率が高いことがわかった。

INS
これまでばらばらに構築されてきた電話、データ通信、ファクシミリなどのサービスを、デジタル技術を使ってひとつのネットワークで総合的に提供するサービス。インフォメーション・ネットワーク・システムの略。電電公社(現・NTT)が九月二八日から東京の三鷹・武蔵野地区と都心との間で実験。昭和六三年に商用サービスを開始。最近はインターネットアクセス用のINS回線設置が進んでいる。

ソープランド
個室式の浴室で女性の特殊なサービスをともなうもの。長く「トルコ風呂」と言われてきたが、その名称は国を汚すのでやめてほしいと渡部恒三厚生大臣にトルコ人からの訴えがあり、一二月一九日、東京都特殊浴場協会が新名称を公募。二二〇〇通の中からソープランドを選んで改名すると、この名が全国に普及した。

風景条例
ふるさと滋賀の風景を守り育てる条例の略。七月一四日、滋賀県議会で可決、昭和六〇年七月一日から施行された。琵琶湖岸全域と主要河川・道路などの景観を自然と調和した風景にすることが目的。建物の色や形、意匠も規制対象とした。こうした風景条例制定は全国で初めて。滋賀県は八月二七日から大津市で世界湖沼環境会議を開催、湖再生などの国際交流促進を提唱する「琵琶湖宣言」を採択した。

日豪牛肉交渉
輸入牛肉の総枠拡大を焦点とする日豪交渉。オーストラリアは前年度、日本の輸入牛肉の六五パーセントを占めたが、四月の日米交渉でアメリカ産牛肉の輸入枠拡大が決まり、危機感を強めていた。七月一九日の九回目の交渉で、日本は総輸入枠を昭和六二年までに一七万七〇〇〇トンまでふやすことで妥結。平成三年四月一日には、牛肉の輸入自由化が実現した。

週刊YEAR BOOK／日録20世紀 1984
CONTENTS

●編集
講談社総合編纂局
アート・ディレクター／山口至剛
表紙デザイン／山口至剛デザイン室(茂村巨利)＋渡邉裕二
本文レイアウト／デザインオフィス八起き
編集協力／(有)エービーシープレス　(株)カマル社　(株)コミュニケーションハウス・ケースリー　シド・プロ　(有)マックス　(有)マライカ
飯田守　小原伸夫　鍵和田良輔　小松邦宏　張替政展　藤森雅弘
結城順一　吉田忠正

●写真協力
安藤幹久　植村直己　勝山泰佑　黒田正治　高杉康史　但馬一憲
中野晴生　沼田早苗　パブロ・バーソロミュー　松浦輝夫　望月誠
朝日新聞社　インペリアル・プレス　AP　角川書店　共同通信社
サンテレフォト　時事通信社　新潮社　中日新聞社　徳間書店　日刊スポーツ　PANA通信社　福音館書店　文藝春秋社　POLFOTO　毎日新聞社　ユニフォト・プレス　読売新聞社　ロイター
WWP　伊丹プロダクション　京セラ　スタジオジブリ　千代菊　二馬力
博報堂　ビクターエンタテインメント
えとせとらレコード博物館　NASA　ノリタケ・ミュージアム

本誌収録写真につき、所在不詳などのため事前連絡ができないものがありました。お心当たりの方は、編集部までご一報ください。

週刊YEARBOOK 日録20世紀 1984
●衝撃の「かい人21面相」!
4月7日号
第2巻第13号 通巻56号
平成10年4月7日発行(毎週火曜日発行)
編集人 近藤達士
発行人 丸本進一
発行所 発売所 株式会社 講談社
郵便番号112-8001 東京都文京区音羽2-12-21
(編集)03-3944-1295 (販売)03-5395-3604
定価560円
本体533円

雑誌 23711-4/7
Ⓛ-2001/1/1
T1123711040567
印刷 凸版印刷株式会社 製本 大村製本株式会社